

サラヤ持続可能性レポート



We are committed to the SDGs!

Sustainability Report 2020

We are committed to the SDGs!



RACE FOR WATER

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

BREGUET

世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を 	4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を実現しよう 	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	8 働きがいも経済成長も 	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	10 人や国の不平等をなくそう 	11 住み続けられるまちづくりを 	12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を 	14 海の豊かさを守ろう 	15 陸の豊かさも守ろう 	16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナーシップで目標を達成しよう 	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

いのちをつなぐ
SARAYA

はじめに

「我々は、世界を持続的かつ強靱(レジリエント)な道筋に移行させるために緊急に必要な、大胆かつ変革的な手段をとることを決意している(我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ、前文より引用)」。サラヤは、今のサハラ以南のアフリカ諸国のように衛生設備が整っていなかった第二次世界大戦後の日本で、手洗い薬用石鹼液とディスペンサーを開発し供給すると同時に、職場や学校、公共施設を起点に日本全国に手指衛生を普及させました。このSDG3の3.1及び3.2、3.3のターゲットにおいて、手指衛生は感染予防の最も重要かつ基本的な手段です。

サラヤは、今ウガンダを起点に東アフリカに手指衛生を普及させる事業をビジネスと社会貢献の2つの道から進めています。本報告書は、すべてのステークホルダーに向けて、サラヤの持続可能な商品の開発、世界の衛生や生物多様性の保全に貢献するためのビジネスと社会貢献の取組をSDGsの14の目標について記載したものです。最新のデータと共にそこに至った過程もご理解いただくためにレガシーも記載しております。ご質問・ご要望などございましたら、<sustainability@saraya.com>にお寄せください。https://www.saraya.com/csr/report/questionnairesにアンケートもお寄せいただきますようお願い申し上げます。

編集方針

ガイドライン

「GRI サステナビリティ レポートینگガイドライン」及環境省「環境報告ガイドライン(2018年度版)」を参考に内容を構成しております。

対象期間

データの集計期間は、当社の決算期である2018年11月から2019年10月としております。報告の活動内容は同期間を基本としておりますが、それ以前や以降の内容、写真が含まれています。

集計対象事業所

・国内は以下の全事業所を対象としております。

- サラヤ株式会社
- 東京サラヤ株式会社
- スマイル産業株式会社

・海外は以下を対象としております。

- Saraya MFG. (Thailand) Co., Ltd
- Saraya (Dongguan) Hygiene Products Co., Ltd.

発行履歴

2002年7月、発行開始より年1回発行。
次号発行は2021年秋を予定しております。

インターネットでの公開

サラヤホームページ上にも持続可能性レポートのPDFデータを公開しております。

- 日本語版 <https://www.saraya.com/csr/report/>
- 英語版 <https://saraya.world/images/sections/sustainability/SustainabilityReport2019.pdf>

もくじ

トップコミットメント	2
サラヤでのSDGs取組	5
SDGsターゲットとサラヤ	6
SDG 3 すべての人に健康と福祉を	8
エビデミックとサラヤ	8
新型コロナウイルスパンデミックとサラヤ	10
東アフリカで、母子のために	13
SDG 4 質の高い教育をみんなに	14
ステークホルダーエンゲージメントの一環として環境・社会問題の共有	14
SDG 5 ジェンダー平等を実現しよう	15
女性のエンパワーメントの推進	15
SDG 6 安全な水とトイレを世界中に	16
サラヤの商品開発	16
カーボンバランスと予防原則	17
ソホロ	18
SDG 7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	19
クリーンエネルギーにかかわる関連会社	19
SDG 8 働きがいも経済成長も	20
ワークライフバランス	20
SDG 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	21
カンボジアと東アフリカでコールドチェーンを確立	21
SDG 10 人や国の不平等をなくそう	22
ダイバーシティ(多様性)	22
SDG 12 つくる責任 つかう責任	23
品質保証とISO、TQM	23
サプライチェーン	24
キナバタンガン下流域の持続可能なアブラヤシ栽培を支援	26
サラヤの持続可能な商品開発	27
SDG 13 気候変動に具体的な対策を	28
環境マネジメントシステム	28
一刻も早いカーボンニュートラルを	29
SDG 14 海の豊かさを守ろう	30
海洋プラスチック	30
レース・フォー・ウォーター オデッセイ	32
サラヤとZERI ジャパン	34
今こそ、海洋プラスチックの除染に取組むべき	35
SDG 15 陸の豊かさを守ろう	36
生物多様性ホットスポット	36
ボルネオ サバ州で生物多様性保全	37
ボルネオ保全トラスト	38
エジプト砂漠緑化事業に出資	39
SDG 16 平和と公平をすべての人に	40
ガバナンスとステークホルダー	40
SDG 17 パートナリシップで目標を達成しよう	41
ウガンダ共和国在大阪名誉領事館	41
環境・CSR コミュニケーション	42
会社概要	44

SDG 3

SDG 4

SDG 5

SDG 6

SDG 7

SDG 8

SDG 9

SDG 10

SDG 12

SDG 13

SDG 14

SDG 15

SDG 16

SDG 17

トップ コミットメント

2020年は、COVID-19(新型コロナウイルス感染症)により、国々が分断され、経済活動が低迷し、世界の状況が大きく変化しました。これからその回復に向けて、さらには地球と地域の持続可能な発展に向けて、舵を切って方向を正し、エンジンをふかして推進力をあげ、事業を進めなければなりません。

インドではシバ神がダンスを踊るとき世界は破壊され、ビシュヌ神がその破壊から新たな世界を創造するとされています。このように破壊と創造は裏表にあり、我々は未来に対して希望を持ち、ガネーシャの知恵で、COVID-19で破壊された世界から、明るく前向きに、創造に取り組む使命をもっています。



踊るシバ神、
ヒンドゥー教の神、
シバとはサンスクリット語
で吉祥者の意味。

COVID-19とサラヤ

2019年の末に、中国・武漢で発生したCOVID-19は、瞬く間に世界に伝播し、2020年の9月には3,400万人が罹患し、100万人が死亡しました。その予防に、手指消毒剤やマスクの需要が高まり、サラヤもその供給のため、できるだけの対応をしてきました。

日本においては、2020年2月のダイヤモンド・プリンセス号の感染事件以来、急激に手指消毒剤の需要が高まり、ご注文の増加に対して、ボトルやポンプの供給がネックになり、なかなか供給が追い付きませんでした。幸い、2019年から建設していた茨城県の関東工場が2020年2月28日から稼働を始め、供給増対応への一端を担うことができました。3月から6月にかけて、新型コロナ患者受け入れ病院や特定機能病院、大学病院などへの必要な供給、日本国からの調達にも応えることができ、サラヤもそれなりの役割は果たせたと思います。また、厳しい時期ではありましたが、関連自治体にも一定量の手指消毒剤の寄付をしました。

時期	自治体	寄付商品		寄付数量
5月上旬	茨城県	ヒビスコール SH 1L (アルコール手指消毒剤)	指定 寄付	5,000本
5月上旬	北茨城市			1,000本
5月上旬	大阪府			5,000本
5月上旬	柏原市			1,000本
5月上旬	三重県			5,000本
5月上旬	熊野市			500本
5月上旬	名張市			500本
5月上旬	伊賀市			500本
6月下旬	東京都			1,000本
7月上旬	船橋市			GUD-500 (オートディスペンサー)
7月下旬	横浜市		516台	
5月下旬	サラヤ本社近隣地域	サニタイザー 100ml 2本/世帯	一般寄付	8,900本
5月下旬	サラヤ本社近隣小中学校	サニタイザー 100ml 1本/生徒	指定	2,450本
5月下旬	東京サラヤ近隣地域	サニタイザー 100ml	寄付	9,280本

以上、1億666万円相当

さて、コロナで経済が低迷し、アルバイトやパートの方々の仕事がなくなる中で、経済的に恵まれない方々に経済的困窮が発生しました。サラヤは、就学が困難なご家庭や地域の経済活性化のため、各自治体を通じて以下の寄付をしました。

時期	自治体・大学他	寄付団体	寄付金
5月下旬	大阪府	大阪府育英会：(夢みらい奨学金 特別奨励金)	5,000万円
6月中旬		大阪市：子ども青少年事業用(子供の貧困対策の推進)	3,000万円
6月中旬	東京都	東京都福祉保健局(ひとり親家庭支援事業)	5,000万円
6月中旬	北海道	北海道：教育振興費(北海道教育庁リモート事業促進)	2,000万円
6月中旬	福岡市	福岡市：コロナの影響で困窮している方々への支援	1,000万円
7月上旬	神奈川県	神奈川県：神奈川県教育委員会(神奈川まなびや基金)	2,000万円
7月上旬	熊野市	熊野市の新型コロナウイルス感染拡大防止対策	500万円
6月中旬	大阪大学	大阪大学未来基金：サラヤ災害等緊急対応学生支援事業	2,000万円
7月上旬	大阪大学	微生物病研究所	500万円
8月下旬	大阪大学	赤松史光教授奨学金	100万円
7月下旬	香川栄養学園	新型コロナ緊急支援募金	90万円
8月	聖マリアンナ医科大学	感染制御部/感染症科	500万円
9月	日本WHO協会	サラヤだれひとり基金	1億円
その他奨学寄付金または共同研究費として			6,050万円

計：2億5,740万円

また発展途上国の感染予防のため、手指消毒剤を以下のように寄付をしました。

時期	国名	寄付団体	寄付金	本数
6月	マレーシア(サバ州)	ユニセフ	サラヤジェル SH 1L	149,176本
7月	カンボジア			163,200本
10月	マレーシア KL			81,864本
10月	エチオピア	ユニセフ	サラヤジェル SH 1L	270,758本
10月	マダガスカル			
10月	コモロ	ユニセフ	サラヤジェル SH 1L	270,758本
9月	ウクライナ			
9月	タイ			
9月	ブルネイ			
9月	カメルーン			
9月	ナイジェリア			
8月	ベナン			
8月	コンゴ			
8月	ウズベキスタン			
(中国拠点からの武漢等への寄付分は含まず) 計：4億9,999万円相当				

これから1～2年、コロナが続くことが懸念される中で、感染予防のための各種薬剤、ディスペンサー、スタンド、PPE(personal protective equipment: 個人防具)など、種々の商品改革をしながら、市場に商品を供給していく予定です。

標準予防策とUHC(ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ)

感染予防には、どの感染症に対しても適応できる標準予防策(standard precaution)があります。それを端的に説明すると、手指消毒の他に、PPEと呼ばれるマスク、手袋、ガウンなどを正しく使うことです。このようなPPEを、必要な市場に十分流通させることが、メーカーであるサラヤの使命であることを、このコロナで思い知りました。今後、PPEについて、サプライチェーンを切らさないためにサラヤでもマスク、手袋など、PPEの生産を検討し、対応いたします。



医療用PPE(個人防具)

さて、UHC(ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ)では、すべての人が経済的な困難を伴うことなく、保健医療サービスを受けることができることを目指しています。アフリカにおいても、感染予防の標準予防策を満たす商品は、UHCの目的に叶うことであり、徐々にではありますが、これらの商品のアフリカにおける供給に、傾注したいと思っています。

アフリカの感染症とサラヤ

2010年からウガンダ、2016年からケニアを加え、東アフリカで手指消毒や手洗いによる衛生向上のために、それぞれに現地法人を設立し、事業を運営しています。2019年は、COVID-19で両国での需要が拡大し、東アフリカでの業績は好転しました。また、スナノミの治療用ローションの開発を行い、2021年には販売を始める予定です。



スナノミ(Tunga penetrans)というノミが主に足裏に寄生して起こる寄生虫性皮膚疾患。アフリカ、中南米、インドなど20カ国以上で深刻で、ケニアだけでも200万人の患者がいるとされる。

また2020年より、エジプトにおいて手指消毒剤の製造計画をスタートし、2021年には工場が竣工します。アフリカにおいては、東と北に加え、西アフリカ、南アフリカでも手指消毒剤の製造を検討し、アフリカの各地域で衛生関連商品が流通できるよう対応する所存です。



サラヤ ミッドイーストの工場を建設中。敷地面積は2ha(6,050坪)。(p.39に詳細)

生物多様性への対応

ボルネオ(マレーシア サバ州)においては、ボルネオ保全トラスト及び、ボルネオ保全トラスト・ジャパンに協力して、2007年より緑の回廊計画を進めています。そのためにヤシノミ®洗剤やハッピーエレファントの出荷額の1%を寄付しています。(p.38に詳細)



ボルネオゾウ

併せて、2020年からアフリカのコンゴ民主共和国にある熱帯雨林の保全のため、アフリカンパークスと協働事業をはじめました。当面は一般的な寄付からはじめ、プロジェクトの進展に合わせて、ヨーロッパのハッピーエレファントの売上の一部を寄付する予定です。

ハッピーエレファントをフランスで発売



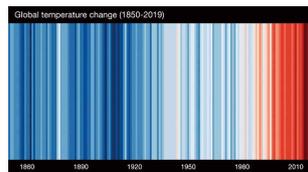
プラスチック海洋汚染、R4W号とキャンペーン

今、プラスチックの海洋汚染が深刻になっています。毎年 800 万トン以上のプラスチックが海に流れ込み、それが紫外線で分解され、マイクロビーズになって海洋を漂っています。この問題解決に向けて、2020 年はスイスに本拠のある R4W(レース・フォー・ウォーター)財団と提携して、R4W 号を日本に招聘し、全国キャンペーンを行うはずでした。しかし、COVID-19 で規模縮小、大幅な見直しを余儀なくされました。この船を、2021 年の東京オリンピックまで日本に継続招聘し、プラスチック海洋汚染防止のキャンペーンを行う予定です。

またサラヤでは、プラスチックの使用量削減のため、エコバッグの開発、プラスチックの使い捨てからリユースができる感染予防ガウンの開発、一部の商品への生分解性プラスチックの導入を進めています。また太平洋の島国に向けてコミュニティでプラスチックの処理ができるよう、子会社の KSN(株式会社 関西再資源ネットワーク)では、プラスチックの回収から 3R(リデュース・リユース・リサイクル)に続く、システム開発を行っています。

気候非常事態宣言

東京大学名誉教授の山本良一先生と共に、気候非常事態宣言ネットワークの立ち上げに協力し、地球温暖化対策について対応・協力します。このことにより、全国各地域や自治体、また企業や市民に、気候非常事態と温室効果ガス削減への意識を盛り上げ、併せてクリーンな再生エネルギー活用に向けてイノベーションの促進をはかります。



世界の平均気温を色で表示した「気候ストライプ」



R4W 号



R4W 号の前で、更家

SDGsとサラヤの重点的取組(マテリアリティー)

地球温暖化と気候変動、生物多様性の減少、資源の枯渇、海洋プラスチック汚染、貧富の格差の拡大など、地球の持続可能性に警鐘が鳴らされていますが、コロナを通じて国の壁が高くなり、また自国中心主義が横行しています。このような状況が続けば、地球環境は様々な変化が蓄積し、ある時点を境に劇的な変化を起こす「ティッピングポイント」を迎えます。これでは、本末転倒です。

このために、ビジネスの売上・利益を上げるミッション、さらに SDGs を事業目的に掲げ、ビジネスを通じて地球と地域の持続可能性に貢献すべく、サラヤも SDGs を経営の核に据えて対応をはかります。サラヤのミッションは衛生・環境・健康ですが、ことに健康と衛生の SDG 3 は気候変動の SDG 7 や生物多様性の SDG 15 と深く関わっています。SDG3、12(つくる責任)、15 をメインに、他の SDGs にもバランスよく取り組む所存です。そのために、各国政府や自治体、NGO、NPO また各種団体と連携をはかり、目標にチャレンジしてまいります。

2025年大阪・関西万博に向けて

2025 年には、大阪・関西万博の開催が予定されています。テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」です。サラヤもこのテーマに沿って、また SDGs をベースに 2025 年に向けて活動を開始いたします。そのための事業業態やグループ全体で、さらに柔軟性を持って対応いたします。

最後に、COVID-19 で、社会は大きく変わりつつあります。これを受け止め、さらなる発展を目指すには DX(デジタル・トランスフォーメーション)の実現が鍵になります。この活用や開発に向けても、さらに注力します。

以上のコミットメントの実現に向けて、今後とも皆様のご指導、ご鞭撻、ご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

サラヤ株式会社 代表取締役社長
東京サラヤ株式会社 代表取締役会長

更家 悠介



サラヤでの SDGs 取組

SDGsは統合され不可分のもの

持続可能な開発のための 2030 アジェンダに “They are integrated and indivisible and balance the three dimensions of sustainable development: the economic, social and environmental.” (経済・社会・環境の3側面で調和することが持続可能な発展であり、各目標やターゲットは全体で完結するものであり、個別では達成できない)とあります。

経済・社会・環境の3側面は、SDGsの各目標で相互につながっています。衛生の推進で途上国の子供たちの死亡率を下げる事ができれば、女性の多産も緩和され、少子化により貧困も改善し、教育の促進や女性の社会進出につながり、途上国の人口の減少は環境負荷の削減につながります。

自然林の保護や森の再生による野生生物生息地の保護は、気候変動対策でもあります。また、気候変動が人間の健康を損ない、経済に損失を与えていくことを、次の「ランセット健康と気候変動カウントダウン」が詳細に報告しています。

ランセット 健康と気候変動カウントダウン

有力医学誌ランセットが主宰し、WHO(世界保健機構)と35の国際機関が健康と気候変動との関連性を分析している共同研究プロジェクトの報告書「ランセット健康と気候変動カウントダウン2019 (Lancet Countdown on Health and Climate Change: ensuring that the health of a child born today is not defined by a changing climate)」は2019年11月16日にランセット誌に掲載されました。この共同研究プロジェクトは、2015年発足の「健康と気候変動に関するランセット委員会」による政策提言の進捗状況を2030年まで毎年報告するものです。

この報告の中で、気温上昇に伴うデング熱やマラリアの感染リスクの増加や農産物収穫量の減少、農工業の労働量の損失などとの相関関係の結果、生まれてくる子供の未来の不安要素がデータで詳細に示されています。サラヤでは、本業の感染予防と健康の増進とともに、気候変動対策も今後加速して、優先的に取組んでいく所存です。

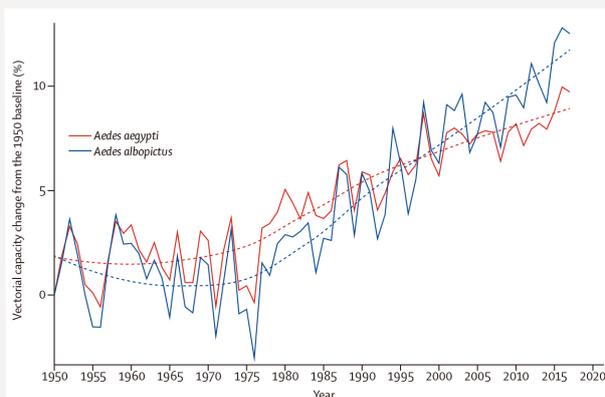


これから生まれる子供の未来にアラート発動

- 2019年版 ランセット 健康と気候変動カウントダウン報告 -

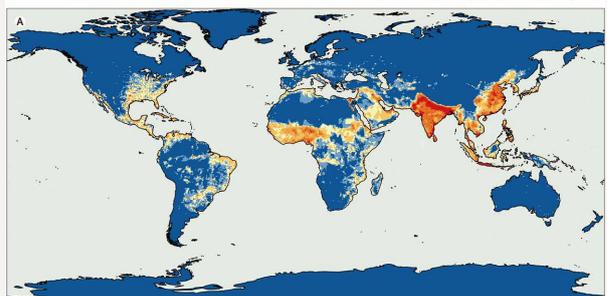
ランセット健康と気候変動カウントダウン2019年版では、パリ協定の目標を達成しなければ、人々の健康に深刻なインパクトを与えると警告しています。

気温上昇による感染症の増加や農作物収穫量の減少、大気汚染などが、特に子供の健康に大きな脅威になるとの調査結果を報告しています。

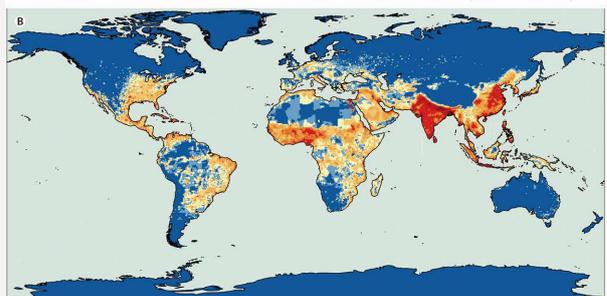


ネッタイシマカ(赤)とヒトスジシマカ(青)のマラリア・デング熱媒介能(%)の推移

気温上昇で失われた2018年の農工業の延労働日数(日陰・屋内)



気温上昇で失われた2018年の農工業の延労働日数(屋外・露天)



0 to <30	100 to <300	1000 to <3000	10000 to <30000	100000 to <300000
30 to <100	300 to <1000	3000 to <10000	30000 to <100000	≥300000



SDGsターゲットとサラヤ

SDGsの目標とターゲット(外務省仮訳)		サラヤの取組	掲載頁
目標 1. あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる			
1.2	2030年までに、各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にある、すべての年齢の男性、女性、子どもの割合を半減させる。	SMU、羅漢果農家、ホホバ栽培	27,39
目標 2. 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する			
2.2	5歳未満の子どもの発育阻害や消耗性疾患について国際的に合意されたターゲットを2025年までに達成するなど、2030年までにあらゆる形態の栄養不良を解消し、若年女子、妊婦・授乳婦及び高齢者の栄養ニーズへの対処を行う。	サラヤ セーフ マザーフード プロジェクト	13
2.3	2030年までに、土地、その他の生産資源や、投入財、知識、金融サービス、市場及び高付加価値化や非農業雇用の機会への確実かつ平等なアクセスの確保などを通じて、女性、先住民、家族農家、牧畜民及び漁業者をはじめとする小規模食料生産者の農業生産性及び所得を倍増させる。	Wild AsiaからのRSPOクレジット購入によるスモール・ホルダー支援	26
2.4	2030年までに、生産性を向上させ、生産量を増やし、生態系を維持し、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水及びその他の災害に対する適応能力を向上させ、漸進的に土地と土壌の質を改善させるような、持続可能な食料生産システムを確保し、強靱（レジリエント）な農業を実践する。	株式会社シモンドに出資、ホホバオイル商品の販売	39
目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する			
3.1	2030年までに、世界の妊産婦の死亡率を出生10万人当たり70人未満に削減する。		
3.2	すべての国が新生児死亡率を少なくとも出生1,000件中12件以下まで減らし、5歳以下死亡率を少なくとも出生1,000件中25件以下まで減らすことを目指し、2030年までに新生児及び5歳未満児の予防可能な死亡を根絶する。	ウガンダとケニアのサラヤ拠点、サラヤ セーフ マザーフード プロジェクト、100万人の手洗いプロジェクト、スナノミ治療薬	13
3.3	2030年までに、エイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する。		
3.d	すべての国々、特に開発途上国の国家・世界規模な健康危険因子の早期警告、危険因子緩和及び危険因子管理のための能力を強化する。	ラカントS等の機能性食品の開発販売	27
目標 4. すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する			
4.7	2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。	広報、宣伝、社内教育、イベント・講演会登壇	14、41-42
目標 5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う			
5.1	あらゆる場所におけるすべての女性及び女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。	女性活躍リーディングカンパニー2017大阪府認定、人事制度、RSPO原則6基準6.8	15,25
5.5	政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。		
目標 6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する			
6.3	2030年までに、汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物や物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模で大幅に増加させることにより、水質を改善する。	カーボン・バランス、ソホロ	16-18
6.6	2020年までに、山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼を含む水に関連する生態系の保護・回復を行う。	ボルネオ保全トラスト支援	36-38
6.b	水と衛生に関わる分野の管理向上への地域コミュニティの参加を支援・強化する。	100万人の手洗いプロジェクト	13
目標 7. すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する			
7.1	2030年までに、安価かつ信頼できる現代的エネルギーサービスへの普遍的アクセスを確保する。	関西再資源ネットワーク、The Green Biomass Sdn. Bhd.などへの出資	19
7.2	2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。		
7.3	2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。	EMS（環境マネジメントシステム）	28-29
目標 8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する			
8.5	2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一労働同一賃金を達成する。	子育てサポート、サラヤチャイルドステーション(企業主導型保育園)	20
8.7	強制労働を根絶し、現代の奴隷制、人身売買を終らせるための緊急かつ効果的な措置の実施、最悪な形態の児童労働の禁止及び撲滅を確保する。2025年までに児童兵士の募集と使用を含むあらゆる形態の児童労働を撲滅する。	RSPO原則6 基準6-9,12-13、ハラスメント相談窓口	25
8.8	移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。		
目標 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう			
9.4	2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。すべての国々は各国の能力に応じた取組を行う。	カンボジアと東アフリカのコールドチェーン	21
目標 10. 各国内及び各国間の不平等を是正する			
10.2	2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、すべての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。	ダイバーシティ経営企業100選、障がい者雇用	22
目標 11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する			
11.a	各国・地域規模の開発計画の強化を通じて、経済、社会、環境面における都市部、都市周辺部及び農村部間の良好なつながりを支援する。	サラヤ熊野食品工場	なし

サラヤが取組んでいるSDGsの目標(goal)とターゲット



サラヤのサプライチェーンを通じた取組におけるSDGsの目標とターゲットのフロー図。SDG3とSDG12が共に4ヶ所があり、次いでSDG15が3ヶ所にある。

目標	取組内容	実施領域	ページ
目標 12. 持続可能な生産消費形態を確保する			
12.3	2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食料の損失を減少させる。	カンボジアと東アフリカのコールドチェーン	21
12.4	2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質やすべての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。	カーボン バランス、ソホロ	16-18
12.5	2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。	EMS	28
12.6	特に大企業や多国籍企業などの企業に対し、持続可能な取り組みを導入し、持続可能性に関する情報を定期報告に盛り込むよう奨励する。	編集方針	1
12.8	2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。	広報・宣伝	14,42
12.a	開発途上国に対し、より持続可能な消費・生産形態の促進のための科学的・技術的能力の強化を支援する。	ウガンダとケニアのサラヤ現地法人	13
目標 13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる			
13.2	気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。	EMS	28-29
目標 14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する			
14.1	2025年までに、海洋堆積物や富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する。	プラスチック海洋汚染の防止、レース・フォー・ウォーター	30-35
目標 15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、土地の劣化の防止・回復、生物多様性の損失を阻止する			
15.1	2020年までに、国際協定の下での義務に則って、森林、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び持続可能な利用を確保する。	ボルネオ保全トラスト支援、	36-38
15.2	2020年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる。		
15.3	2030年までに、砂漠化に対処し、砂漠化、干ばつ及び洪水の影響を受けた土地などの劣化した土地と土壌を回復し、土地劣化に荷担しない世界の達成に尽力する。	株式会社シモンドに投資、ホホバオイル商品の販売	39
15.5	自然生息地の劣化を抑制し、生物多様性の損失を阻止し、2020年までに絶滅危惧種を保護し、また絶滅防止するための緊急かつ意味のある対策を講じる。		36-38
15.6	国際合意に基づき、遺伝資源の利用から生ずる利益の公正かつ衡平な分配を推進するとともに、遺伝資源への適切なアクセスを推進する。		なし
目標 16. 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的説明責任のある包摂的な制度を構築する			
16.7	あらゆるレベルにおいて、対応的、包摂的、参加型及び代表的な意思決定を確保する。	ガバナンス	40
目標 17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する			
17.16	すべての国々、特に開発途上国での持続可能な開発目標の達成を支援すべく、知識、専門的知見、技術及び資金源を動員、共有するマルチステークホルダー・パートナーシップによって補完しつつ、持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを強化する。	ウガンダ、ケニア拠点、ZERIジャパン支援	41

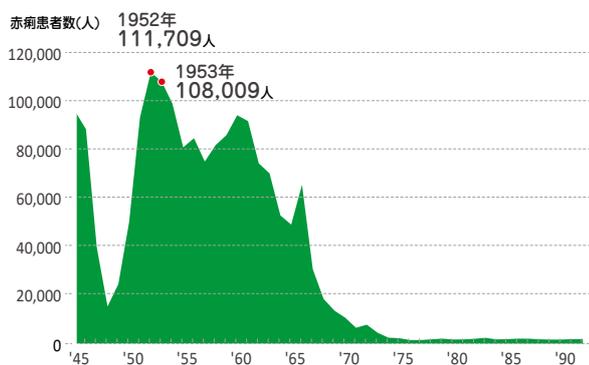
すべての人に健康と福祉を

エピデミックとサラヤ

1952年 赤痢

1952年の日本は、戦後の復興途上で、衛生設備も整ってはいませんでした。戦後日本の(細菌性)赤痢患者のピークは、1952年の111,709人で、死者数は2万人弱でした。予防対策として、手洗いのための固形石鹸は市場にありましたが、石鹸液は日本では売られていませんでした。各種施設での固形石鹸での手洗いは、交差汚染をはじめとする衛生面や管理に問題がありました。

同年4月、サラヤは消毒剤を配合した薬用石鹸液とその専用ディスペンサーを業務用に発売しました。これは、当時の基幹産業であった繊維工業や鉄鋼業、学校、官公庁などで次々と採用されました。同年11月、日本の厚生省(厚生労働省)は食品取扱施設従業員に対する手洗い・消毒を義務付けました。以降、サラヤは日本の労働衛生と食品衛生のリーディング・カンパニーとなりました。



赤痢患者発生数の推移(「国民衛生の動向」より)

薬剤耐性菌、MRSA

サラヤは1973年に「ハンドサニター」を発売し、アルコールによる手指消毒商品の開発を開始しました。1976年頃には日本の医療施設では分離(病原菌存在の証明)されていなかったMRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)ですが、1980年代の後半より、各地の医療施設でMRSAが問題となりはじまりました。

1996年には、アルコール手指消毒をはじめとするMRSAの医療関連感染対策に国民健康保険診療報酬が適用されるように



ハンドサニターS(1979年)

なりました。2013年時点で日本国内で、MRSA患者数は118,539人となっており、以降は減少傾向にあると考えられています。

1986年に開発された「ヒビスコール液」は、エタノール揮発後も持続性を持たせるためにグルコン酸クロルヘキシジンを加えています。1989年に製造承認許可を受け1990年に発売しました。1992年には福祉施設などに向けた「ヒビスコールS」を発売し、もとの「ヒビスコール液」は医療施設向けのヒビスコールA(上写真)となりました。これらは、今ではサラヤの感染対策の主力商品となっています。

1995年にはアメリカの合弁会社、ベストサニタイザーズ社を設立し、アメリカで同処方の「Alsoft A」(下写真左)の販売を開始しています。

2010年には一般細菌、真菌、エンベロープウイルスに加えて、ノンエンベロープウイルスまで含む、幅広い微生物に対して殺菌効果のある「ウィル・ステラ」シリーズ(下写真右)を開発・発売いたしました。エンベロープは、インフルエンザウイルス、HIVウイルス、エボラウイルスなどのウイルスにある膜状の構造のこと。ノンエンベロープウイルスはこの膜がないもので、ノロウイルスやロタウイルスなどです。

従来のアルコール製剤は、細菌やエンベロープウイルスには非常に効果的でしたが、ノンエンベロープウイルスに対する抗菌効果は劣

るとされていました。しかし、成分の調整により、この問題を解決したのが、「ウィル・ステラ」シリーズです。



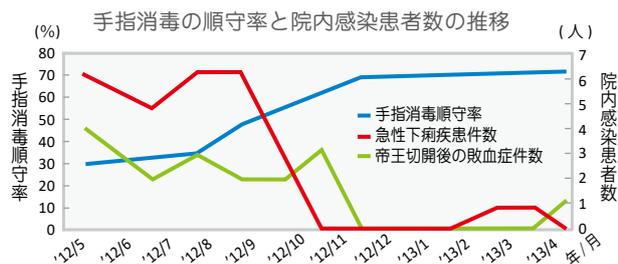
市中感染型MRSA

近年医療関連感染のMRSAは減少傾向にありますが、医療施設と関わりのない小児や若年層に広がっている市中感染型MRSA(Community-acquired MRSA; CA-MRSA)が出現し、グローバル感染症として世界の注目を集めています。主に皮膚や粘膜に感染し、日本でも学校や託児所などでの蔓延が心配されています。肺炎・敗血症などの死亡例もあります。

参考資料: 鈴木明子、小林寛伊. わが国の感染制御の歴史, The Journal of Healthcare-Associated Infection 2015
新潟大学大学院医歯学総合研究科国際感染医学講座細菌学分野, Panton-Valentine ロイコシジン陽性の市中感染型メチシリン耐性黄色ブドウ球菌の出現. <http://www.chemotherapy.or.jp/journal/jic/05211/052110635.pdf> (2020年5月14日アクセス)

2012年 エボラ出血熱

2011年にウガンダ首都カンパラ市にサラヤウガンダ現地法人を設立、まず JICA(国際協力機構)の「BOP ビジネス連携促進」を活用して、ゴンベ県病院とエンテベ県病院にサラヤのアルコール手指消毒剤「ヒビスコール SH」を試験導入しました。ゴンベ病院では、当時の院長のルレ・ハルナ博士の指導で手指消毒順守のプロジェクトが進められました。最初はなかなか順守率が上がらなかったのですが、70%まで上がると、下のグラフのように小児科の子供たちの下痢性疾患や帝王切開後の敗血症がゼロになる月が記録されました。



ルレ・ハルナ医師によるゴンベ病院小児科・産婦人科での手指衛生順守率と院内感染患者発生数の推移

2012年7月にウガンダ西部のキバレ県とコンゴ民主共和国東部のオリエンタル州でエボラ出血熱が発生しました。サラヤウガンダ現地法人の当時の代表宮本和昌氏が JICA を通じてウガンダ保健省に感染対策商品の提供を申し出ました。翌月の8月1日に日本からのヒビスコール SH 1L ボトル 100 本とサラヤジェル 40ml ボトル 600 本を届け、キバレ県内の医療施設に配布されました。感染で同県住民 16 人の犠牲がありました。感染制御に成功しています。

2013年2月21日ウガンダ首都カンパラ市で、"East Africa Infection Control Conference 2013" がサラヤ ウガンダ現地法人による企画・プロデュース、ウガンダ保健省協力、JICA ウガンダ事務所後援、サラヤ協賛により開催されました。ルレ・ハルナ博士によるゴンベ病院、小児科・産婦人科の手指衛生の事例発表が注目を集めました。

2014年 マールブルグ熱

2014年2月に、カキラシュガー(ウガンダ大手製糖会社)の一角に、現 Saraya Manufacturing (U) Ltd. (以降 SMU と略) が設立されました。カキラシュガーで製糖後の廃棄物である「廃糖蜜」からつくられたエタノールを利用して、手指消毒剤「Alsoft V」(右写真)を製造しています。Alsoft V は日本で販売しているウィル・ステラシリーズと同じ処方です。

ウガンダでは NMS(National Medical Store) と呼ばれるウガ



ンダ国内唯一の医薬品卸売業者が、国内すべての公立医療施設に薬と診療材料を供給しています。NMS の入札が公立医療施設に普及させる唯一のルートです。何年も入札の機会さえなく、2015年に日本で、北條(海外事業本部)がムセベニ大統領来日時に直に陳情し、大統領自ら NMS 宛にウガンダ国内製のアルコール消毒剤を調達するよう親書を送りました。入札では 10%以内の差額であれば、国内製を優先するとするルールが確立していて、ウガンダ製のものも Alsoft V の他にはなく、価格差も 10%以内でした。しかしながら、ようやく行われた2ヶ月後の開札では、競争相手の調達先(中国製)の輸入品が採用されていました。そして、2017年7月31日、ついに「Alsoft V 50ml」が NMS の入札を勝ち取りました。

その44日後の9月13日、ウガンダで一人の男性がマールブルグウイルスに感染し、マールブルグ熱(出血熱)の1号患者となったと推測されており、Kapchorwa Hospital(右写真)に運び込まれました。マールブルグ病は平均致死率 50%と極めて高く、非常に危険な感染症です。しかし、感染は広がることなく終息し、12月11日にウガンダ保健省によるアウトブレイク終了宣言が出されました。写真のように「Alsoft V 50ml」も感染制御に利用され、Kapchorwa Hospital やウガンダ保健省により、見事にも感染拡大が抑え込まれました。



2018年 エボラ出血熱

2018年5月、コンゴ民主共和国からエボラ出血熱が発生し、8月にウガンダでもコンゴから移動した数人が感染しました。しかし、ウガンダ保健省の感染防止対策により、ウガンダ国内には感染が拡大していません。SMU では WHO などの国連機関や国際 NGO、コンゴ向けの商社からの大口受注があり、Alsoft V やオートディスペンサーの需要に対応しました。SMU では雇用も増やし、Alsoft V の増産体制に入りました。

コンゴ民主共和国のエボラ感染について、WHO サイトによると、2020年7月3日時点で計 3,481 人(高度疑い例を含む)が発症し、計 2,299 人が死亡しました。致死率は 66% に達しています。

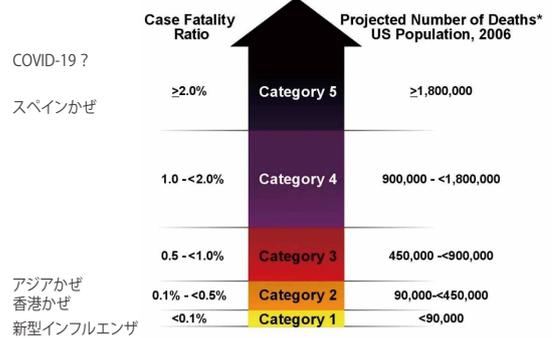
参考資料: WHO, Ebola virus disease - Democratic Republic of the Congo Emergencies preparedness, response. <https://www.who.int/csr/don/07-May-2020-ebola-drc/en/> (5月18日アクセス)

新型コロナパンデミックとサラヤ

パンデミック

アメリカ疾病対策予防センター、CDC(Centers for Disease Control and Prevention)は、致死率等をもとにパンデミックの深刻度を5段階で評価する“Pandemic Severity Index”を設定しています。下表に近年のパンデミックをまとめました。新型コロナについては、カテゴリーは終息後の確定になりま

Pandemic Severity Index



CDC Pandemic Severity Index(パンデミック重度指数)

流行年	通称	ウイルス型	世界の死亡数	発生地	Pandemic Severity Index
1918～1920	スペインかぜ	A/H1N1	5,000万～1億人	仏、米、中国等諸説あり	カテゴリー5
1956～1958	アジアかぜ	A/H2N2	100万～200万人	中国	カテゴリー2
1968～1969	香港かぜ	A/H3N2	100万人	香港または中国雲南省の可能性	カテゴリー2
2009～2010	新型インフルエンザ	A/H1N1	18,449人(WHO 2010年8月集計)	メキシコ・アメリカ	最終的にはカテゴリー1
2019～	COVID-19	SARS-CoV-2	108万人(2020年10月15日時点)	中国武漢市	未定

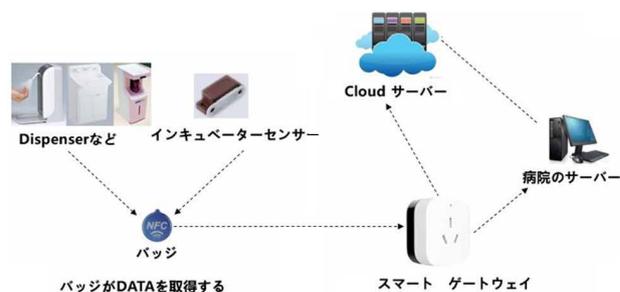
中国のサラヤ拠点

2003年、機器を製造する東莞工場(莎羅雅潔具製品廠)を創業し、2008年9月には「莎羅雅(東莞)清潔用品有限公司」(以降、サラヤ東莞)と社名変更しました。2014年には、中国で医療分野における洗浄・殺菌消毒の機器製造の国営企業である「山東新華医療器械股份有限公司新華医療」(以下、新華医療)とサラヤが合併契約を締結し、新華医療敷地内に合併会社「山東新華医療生物技術有限公司」を設立、2019年に「山東新華サラヤ生物技術有限公司」(以下、新華サラヤ)と社名変更しました。新華サラヤでは、伊賀工場の技術提供で高品質な消毒剤を製造し中国国内に販売しています。

2019年10月24日にはサラヤ東莞の一部門として、IoT・AIを駆使したグローバル商品を研究開発する拠点「莎羅雅東莞 深圳研究開発センター」を設立しました。ここでは、手指衛生モニタリングシステムなどの開発を進めています。

新型コロナ(COVID-19)発生後 — 中国拠点

新華サラヤでは、手指消毒液を生産する日中合併会社として、1週間で今までの1年分という莫大な受注があり、春節休暇を返上し、商品緊急出荷や24時間フル稼働で対応しました。3倍に増えた物流に対応するため開発部門も動員しています。新華医療及びその親会社の要請により同年1月31日には、新華医療の医療機器とともに新華サラヤの手指消毒液を武漢の各病院や突貫工事で建設中のコンテナの臨時病院用に寄贈しました。山東省政府、淄博市市政府も新華医療と新華サラヤを重視し、副省長や市書記が新華サラヤに視察と現場スタッフを激励のため訪問しました。



莎羅雅東莞 深圳研究開発センターで開発中の手指衛生モニタリングシステムにより、医療従事者のバッジから手指消毒の遵守状況が記録される仕組み。



2019年4月3日(サラヤ創業記念日)に、左のステリエース工場、右のサラヤ東莞サテライト工場の開業式が行われた。この奥に新華サラヤのアルコール消毒剤の製造工場(別棟)がある。左側敷地に新華医療。



2020年1月31日、新華医療から建設中の武漢コンテナ臨時病院向けの消毒液等の出荷。他武漢の病院向けのトラック3台分も含めすべて寄贈。

一方、サラヤ東莞では、2020年2月10日封鎖中の中国で政府の工場稼働の許可も下りました。しかし、初日に集まった従業員は、約半分の158名、他は封鎖で湖北省から戻れない人、帰省の隔離処置などで足止めされ出社できません。一人でも新型コロナを発症すると、政府による操業停止命令が出されます。公共交通を利用しない人員やインターンを兼ねた学生アルバイトなどの人員を補充しました。

日本のサラヤ製造拠点

伊賀工場では、2020年2月25日から2交代制を3交代制にして24時間休日なしで、4月度は通常月の2.5倍の量を製造しました。4月6日から5月31日までは、新入社員32名がサンピア伊賀に宿泊しながら、実習として生産・出荷業務に従事しました。さらに外国人などの人員を増やして増産に当たっています。

2月28日には、サラヤ関東工場が操業をはじめました。敷地面積約57,000㎡(東京ドームの1.2倍)、建築面積約8,800㎡、鉄骨造3階建(生産棟)、鉄骨造2階建(管理・研究棟)、他付属建屋4棟です。この関東工場には14名の新入社員が伊賀工場と同様に生産実習に参加しました。調達部門の新人7名は一足先に本来の部署での業務を開始しています。

サラヤ本社

営業部門では、発送残のお客様からの苦情の対応や出荷統計品の調整、受注データの修正作業等の事務作業に追われ、コンタクトセンターではお問い合わせが集中し、一時回線がパンクするなど対応に追われました。資材調達部門では、2月の受注増で多少余裕のあった在庫が底をつき、発送残も増える一方の中、統制品処理の事務作業も発生し、連日夜遅くまでの残業が続きました。(次ページに続く)

新入社員研修で2ヶ月の生産実習を終えて

私は伊賀工場で約2ヵ月、商品を配送地域ごとに仕分けする作業と250mlアルコールポンプにカバーキャップを装着する作業に従事しました。作業は絶え間なく続き、辛いと思ったことが何度もありましたが、それでも同期と一緒に日々楽しんで仕事に取り組むことができました。

それには、どんな時も笑顔を絶やさず前向きに仕事に取り組んでおられる現場の先輩方の存在があり、辛い、苦しいと思う気持ちは、「明るく・楽しく・元気のいい」現場の雰囲気がいざさっぱり吹き飛ばしてくれました。苦しい時はネガティブ思考に陥りがちだけど、苦しい時こそ逆に前向きに仕事に取り組むことの大切さを実感しました。

また、自分たちが関わって製造している商品が、実際に社会の役に立っていることを実感する機会がありました。研修期間中に近くの飲食店や理髪店に立ち寄った時、サラヤの消毒剤が



サラヤ東莞のインターン生最終日の記念撮影。感染対策の社員食堂横断幕には「情熱を企業にそそぐ。心はいつもサラヤと一緒に」と書かれている。



茨城県北茨城市にあるサラヤ関東工場(奥)、手前の建物には「食と健康研究所」と管理部、施設内保育所がある。



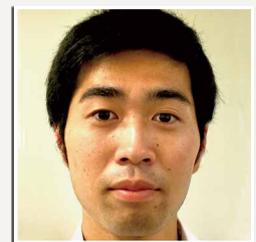
原料より容器が不足した。そこで18L缶や5Lボトルでお客様に詰め替えてご使用いただくことを提案させていただいた。伊賀工場のラインで生産実習の新入社員たち。彼らは、この経験を経て、有力な戦力に育ってくれるに違いない。

使われているのを目にし、嬉しくもあり、店主の方に製造研修のことを話しました。「消毒剤を供給してもらったおかげで、対策をして店を続けられる」と思いがけず感謝の言葉をいただきました。その度に、「世の中で必要とされているモノに携わっている」という誇りや、「自分の仕事がこんなにも感謝されるんだ」という喜びを感じて、何よりそれが励みになりました。

今後も大小様々な困難があると思いますが、その時には、この研修での経験を思い出し、私自身が率先して「明るく・楽しく・元気良く」それを乗り越えられるよう日々精進して行きたいと思っています。

メディカル事業本部
広島支店 医専課

正下 文太郎



また急増した受注量に対し、ポンプや容器、原材料などの増産のためにサプライチェーン全般の対応が必要になり、資材の入荷、営業の受注、そして工場の生産のすべての状況を判断、確認しながら、日々引き当て作業を行いました。

それ以外の間接部門では、政府からの要請で7割以上の接触削減を行うために、直行直帰、在宅勤務、時差出勤などの勤務体系を実施しました。広報部門では、正しい手洗いや手指消毒の方法を伝えるなどメディアへの取材なども50件以上お受けしています。また、従業員への新型コロナ対策も、マスク、消毒剤の配布などの対策を行いました。

日本政府調達

2020年4月16日に安倍首相(当時)はじめ閣僚とのテレビ会議「第2回医療防護具等の増産貢献企業との懇談会」が開催され、官邸を結んでリモートで大阪の社長室から社長の更家悠介が参加しました(下写真)。

当社にも政府からの増産の要請があり、5月に170万L(昨年度同月の6~7倍)の政府納品を約束いたしました。日本の政府調達は、適正価格での買取で、余剰在庫が発生したとしても、備蓄用に買取るとの言及もありました。



https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/actions/202004/16kondan.html

ウガンダ

サラヤのウガンダ現地法人、SMU(サラヤウガンダ現地法人)でも新型コロナ対策に既に2020年3月19日時点でウガンダ製 Alsoft V の受注が4倍に増え、2交代制で2倍の増産体制に入っています。

そんな中ウガンダ2大紙のひとつ New Vision の3月17日号に右写真の記事が掲載されました。記事にはウガンダの政府機関 UNBS (Uganda National Bureau of Standards) が許可している消毒剤は、SMU製のものを含めて2社製のみであるのにまがい物が多数出回っていること、SMUでは臨時の増員を検討していることや受注を受けた順に出荷していること(SMU代表 北条談)、8,000LのAlsoft Vを発注していたが、2月中旬に爆発的な需要で在庫が切れると気付

き、10,000Lの発注をかけたこと(医療品代理店 Laborex Uganda 営業談)、新型コロナのアウトブレイク前は Alsoft V1L ボトルが1日に20ケースだったのが、コロナ禍の今では200ケースペースで売れて、既に在庫切れとなったこと(Top Medical Store 営業談)など記載されています。

ウガンダではアルコール手指消毒剤に日本での酒税と同じである奢侈品税が課税されていましたが、ウガンダ政府はコロナ禍の中でこれを廃止しました。



New Vision の2020年3月17日号のSMUの記事

その他の海外拠点

アルコール手指消毒液生産について、アメリカの生産拠点であるベストサニタイザーズ社では2020年1~5月は950tで前年同期の330%、マレーシア拠点グッドメイド社では247tで前年同期900%、韓国のサラヤコリアでは2~5月で43,000Lで前年同期の360%となり、食品用やその他のアルコールも200%の増産となっています。

健康経営優良法人2020に認定

またサラヤ株式会社と東京サラヤ株式会社は、経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2020」に認定されました。この健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。

3 すべての人に
健康と福祉を

東アフリカで、母子のために

ユニセフ支援 — 100万人の手洗いプロジェクト

右のアフリカ大陸の地図は、2018年の5歳未満の子供の1,000人当たりの死亡数で色分けしたもので、サブサハラの死亡数は279万人に上り、世界全体の52.4%を占めると推定されています。サラヤは2010年より主要ブランドの手指衛生商品の出荷額の一部で、公益財団法人日本ユニセフ協会のウガンダの子供たちや母親に石鹸を使った正しい手洗いの教育・普及活動を支援しています。サラヤの支援によって、ウガンダの学校に手洗い設備を設置することや手洗い啓発などのユニセフ活動を進めています。(https://tearai.jp/ 参照)

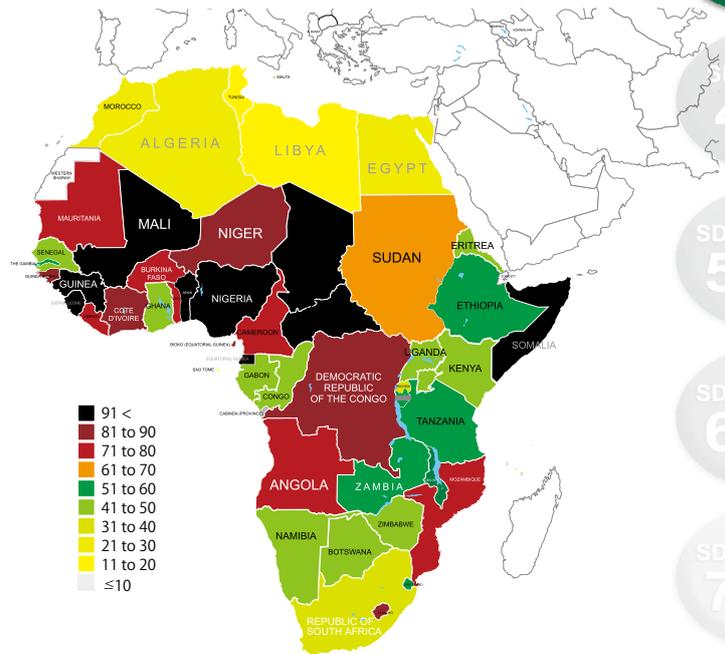
ウガンダ官民連携プロジェクト

ウガンダ政府は、性と生殖に関わる (Reproductive Health) 医療サービスの向上を政策として掲げています。IPPF (国際家族計画連盟) の呼びかけによってはじまった日本信託基金 (Japan Trust Fund、以下 JTF) プロジェクトとして、「ウガンダ国、リプロダクティブ・ヘルス・ライツ (性と生殖に関する健康と権利) に関する官民連携によるヘルスケアの質向上プロジェクト (Saraya safe motherhood project)」が、ウガンダと日本両国政府、サラヤ、Reproductive Health Uganda (RHU: IPPF のウガンダメンバー、NGO)、ジョイセフなどの NGO も参画し、2018年6月にスタートしました。このプロジェクトの資金は、JTFが75%、サラヤが25%を準備しました。

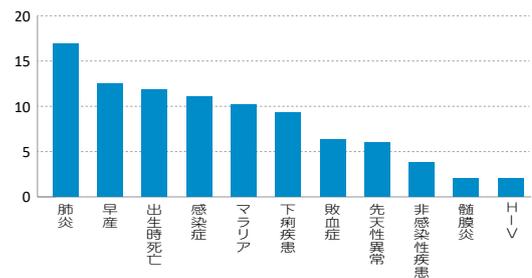
この一環として、ウガンダの首都カンパラから郊外の District、Gulu、Lira、Apac、Luwero のクリニックでの感染症対策のプロジェクトが実施されます。これには、SMU (ウガンダのサラヤ現地法人) やサラヤが参画しています。

このローンチイベントが、2018年8月24日に開催され、ウガンダ保健省大臣 (Hon. Dr Sarah Opendi)、亀田駐ウガンダ共和国日本大使、ジュネーブ大学病院のピッテ教授、RHU 代表 (Chekweko) らが講演し、SMU 代表の北條 (海外事業本部) は、ウガンダ国における医療環境と SMU のチャレンジについて講演しました。ピッテ教授からは院内感染は世界中どこでも起こっていること、それを解決するためにはアルコール消毒剤による手指衛生を行うことが最も効果的であると講演しました。

※ (Strengthening Quality of Care for Sexual and Reproductive Health Services through Public Private Partnerships in Uganda)



2018年のアフリカの5歳未満の子共1,000人当りの死亡数
参考資料: unicef他, Levels & Trends in Child Mortality Report 2019



アフリカの5歳未満の子共1,000人当たりの原因別死亡数
参考資料: WHO, Cause of death among children, https://www.who.int/maternal_child_adolescent/data/causes-death-children/en/index1.html



ローンチイベント



RHU APAC branch の産科病棟



4 質の高い教育をみんなに

ステークホルダー エンゲージメントの一環として環境・社会問題の共有

コマーシャル メッセージとしての持続可能性と健康

SDG4 のターゲット 4.7 は、「2030 年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、すべての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする」です。

サラヤのコンシューマー事業本部では、持続可能で健康的なライフスタイルをサポートする家庭用商品を提供しております。このことから、商品広告も環境へのネガティブ・インパクトや健康リスクの問題共有が最初の切り口となります。企業と消費者を含む全ステークホルダーと共に持続可能な生活習慣や健康リスクの回避に取り組むための呼び掛けを目的とした広告展開をしています。

サラヤの広告宣伝

サラヤの広報宣伝統括部では、限られた予算で BtoB に加え BtoC、分野は 医療衛生、食品衛生、産業衛生、公衆衛生、機能性食品分野など専門的で多岐にわたるマーケットの広告を出す必要があります。さらに、個々の中で複数のブランドがあるので、広告代理店にお任せすることが難しくなります。概ね雑誌 30%、WEB 35%、ラジオ 10%、新聞 10%、イベント 10%、その他 5% に振り分け、自社制作も含めて広告し

ています。

最も力を入れているのは、環境・社会問題に関わる情報の中で、当社の活動を紹介していただくことです。柏倉陽介さんのような写真家や相川七瀬さんのようなミュージシャンをボルネオに招いて、共感とともに情報発信してもらえるような企画を数多く手がけています。柏倉陽介さんは、このボルネオ取材をきっかけにネイチャーフォトグラファーを志し、今や世界でご活躍、度々受賞されています。

最近の例として「ナショナル ジオグラフィック 日本版」web の「スペシャル トーク」でボルネオ熱帯雨林の生物多様性への賛美とともにパーム園の拡大による環境問題を取上げたものがあります (<https://special.nikkeibp.co.jp/atclh/TS/19/saraya01/>)。また、経営者取材いただいたものも多く、「サステナブル・ビジネス・マガジン online alterna」では、「更家悠介サラヤ社長 社会と向き合い事業を伸ばす」(<http://www.alterna.co.jp/25818>) などがあります。

子供向け環境教育

「ぺぱぶんたす 002」2018 年 7 月号、「どうぶついっぱいたんけん！ボルネオのもり」では、ページに印刷されている QR コードからスマートフォンでサラヤのボルネオ環境保全サイトの説明を見ながら読み進むことのできる絵本や「ソイコ！」2018 春号、「熱帯雨林のげん少を止めよう！」などがあります。

幅広い環境・社会問題の啓発、メディアでも存在感

SDGs (持続可能な開発目標) は、17 目標・169 ターゲットの達成に向けて、企業を主要な実施主体の一つに位置付け、課題解決のための創造性とイノベーションを発揮することを期待しています。目標年である 2030 年までに、企業はどのように SDGs に貢献できるのでしょうか。

サラヤは創業以来、「社会課題を製品・サービスで解決する」という企業姿勢を貫いてきました。日本初となる緑色の薬用手洗い石けん液と専用容器の開発に始まり、ボルネオの生物多様性保全活動、「100 万人の手洗いプロジェクト」、業界に先駆けた持続可能なパーム油の調達など、本業で社会課題の解決に取り組んでいます。

SDGs を軸にした世界の社会課題の解決のためには、企業だけでなく、消費者の協力も欠かせません。サラヤは、

メディアの記事掲載を通じて、広告コミュニケーションでも、自社の製品・サービスだけではなく、世界の衛生問題や生物多様性保全など、幅広く環境・社会問題の啓発を行っています。そういった意味で、SDGs のターゲット 4.7 で掲げられている「持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする」にも貢献しておられると思います。

株式会社オルタナ代表取締役
「オルタナ」編集長



森 張



ジェンダー平等を実現しよう

女性のエンパワーメント推進



機会均等

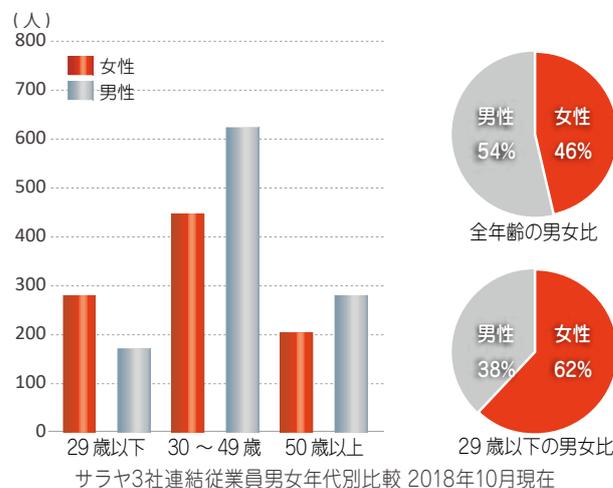
サラヤでは男女同一賃金はもとより、採用、昇格、昇給、人材配置、教育研修機会など性別による制度上の差別はなく、内在的な差別も未然に防ぐよう努力しています。性別にかかわらず高いプロ意識とモラル、知識などの素養や可能性のある人材を採用し、育成しています。

サラヤの最終ユーザーは、日本では食品衛生や医療衛生で女性の比率が高く、また家庭でも購買層は女性の比率が高いので、商品開発部門を中心にデザインや意思決定に女性が加わるよう、女性の登用を多くすることを心がけています。

サニテーション事業本部は、食品衛生インストラクター制度を1989年に発足させました。これは、サラヤ独自の制度として、お客様のご要望に応じて、店舗や食品製造現場を巡回して、洗剤や消毒剤などがマニュアルに沿って/正しく利用されているかなどをチェックし、必要に応じて説明やアドバイスを行い、食品衛生サポートを提供しています。食品や食品衛生について幅広い知識を持つ栄養士の資格を有する女性を主体に組織しています。メディカル事業本部の学術部も当初より薬剤師の資格を持つ女性で構成し、これら専門職で女性が力を発揮しています。どちらも、最近では逆に男性も加わりこの分野で活躍しています。

サラヤ3社の正社員・嘱託社員、その他有期雇用従業員の女性比率

	2019年度	サラヤ	東京サラヤスマイル産業	3社
正社員及び嘱託女性比率	33.5%	30.8%	13.3%	32.5%
その他有期雇用女性比率	80.3%	83.0%	83.3%	80.7%



サラヤのジェンダー関連の認証、受賞、宣言等

取得年	主催または認定団体	名称	認証または受賞、行動宣言
2006	大阪府	男女いきいき・元気宣言事業	認定、登録
2013	NPO法人 ひまわりの会	ひまわり褒章2013 企業部門賞	受賞
2015	大阪市	女性活躍リーディングカンパニー認証(認証レベル2つ星)	認証
2015	大阪市	女性活躍リーディングカンパニー最優秀賞	受賞
2016	内閣府男女共同参画局	輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会	行動宣言 (社長 更家悠介)
	大阪商工会議所	大阪サクヤヒメ表彰	受賞(吉田葉子)
2017	大阪市	女性活躍リーディングカンパニー認証(認証レベル2つ星)	継続認証
2018	大阪商工会議所	大阪サクヤヒメ表彰 大賞	受賞(川向恵美子)
2020	大阪市	女性活躍リーディングカンパニー優秀賞	受賞

クロスアポイントメント制度を活用してイノベーションを社会実装します

バイオケミカル研究所では、持続的にイノベーションを社会実装していくために、産学連携にも力を入れています。その一環として、私はクロスアポイントメント制度(※)を活用し、2018年度から大阪大学大学院工学研究科にも特任准教授として籍を置き、サラヤ95%、大阪大学5%の割合で業務に従事しています。

大阪大学では、主に共同研究先が保有する技術である超好熱菌由来プロテアーゼの実用化研究を行っています。社会実装にはいくつかのハードルがありますが、独自性の高い商品を目指し、諦めずに粘り強く研究に取り組んでいます。

また、研究活動に加え、学生への教育活動として、企業研究を題材に学内セミナーや授業で講師も務めています。研究者の卵である理系学生が将来を選択する際に少しでも役立てばと思いながらお話しさせていただくのですが、彼らから刺激をも

らい新たな発見をさせられることも多くあります。

これからも、クロスアポイントメント制度で得た、多彩な人脈と様々な研究分野に関する最新の情報や知識、そして広い視野を活用して研究開発を行い、独自性と付加価値の高い商品を世界に送り出していきたいと思っています。

※: 研究者が大学、公的研究機関、民間企業のうち、2つ以上の組織と雇用契約を結び、一定の勤務割合の下で、それぞれの組織における役割分担や指揮命令系統に従いつつ、研究・開発及び教育などの業務に従事することを可能にする制度

バイオケミカル研究所 柏原エリア MDRG 次長

尾田 友香





安全な水とトイレを世界中に

サラヤの商品開発

サラヤの家庭用洗剤はLAS無添加

LASとは直鎖アルキルベンゼン-スルホン酸塩: Linear Alkyl Benzene Sulfonate の略です。LASはご家庭用の洗濯用洗剤や住居用洗剤に多く利用されています。

環境省による2013年3月27日の報道発表資料、「水生生物の保全に係る水質環境基準の項目追加等に係る環境省告示について」が開示され、LASの環境基準が定められました。これは環境ホルモンの作用が知られている垂鉛とノニルフェノールに続いての3番目となっています。

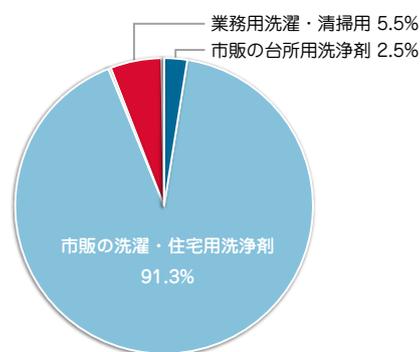
サラヤではヤシノミ®洗剤発売(1979年)以来、ご家庭用の一般流通に参入いたしました。ご家庭用商品にLASを配合したことは一度もありません。LASと同等以上の洗浄力のあるバイオサーファクタント、ソホロースリピッドを開発し、30種を超える自社商品に配合しています(p.18に詳細)。

LASの消費量

1960年頃に川が泡立つ公害問題になったABS(アルキルベンゼン-スルホン酸塩)ですが、LASは生分解されるとして、その後大量に使用されるようになりました。しかし、LASは直鎖でもベンゼン環があるので、生分解が遅くなり、湖底など温度の低い水域ではさらに遅く、そのまま残存する可能性も残ります。しかし、下水処理されれば、ほとんどその心配はなくなります。

日本石鹼洗剤工業会・日本界面活性剤工業会の実績調査によると、LASは2018年度に全国で38,327tが出荷されています。そのうち洗濯・住宅用洗剤として市販されているものが34,898t(91%)、台所用洗剤が948t(2.5%)、身体用洗剤が8t(0.2%)、業務用の洗濯・清掃用等洗剤が2,199t(5.7%)と集計されています。

これらのデータをもとに河川などの公共水域に排出される量が推定されています。LASは6,193,206kgであるとされています。そのうち洗濯・住宅用洗剤として市販されているものが、5,657,140kgで91.3%、台所用が153,676kgで2.5%、業務用洗濯用が337,958kgで5.4%となっています。同年のPRTR届出排出量では、13,305kgとなっていて、それほど多くなく、ご家庭からの排出量を削減することが大切です。



下水処理や合併処理浄化槽を通さずに排出されたと推計されるLASの量の比率

参考資料: 経済産業省製造産業局化学物質管理課、環境省環境保健部環境安全課、平成30年度PRTR届出外排出量の推計方法等の概要、参考7. 洗剤・化粧品等に係る排出量、I 界面活性剤
https://www.env.go.jp/chemi/prtr/result/todokedegaiH30/suikai/suikai_all.pdf (2020/6/18アクセス)

経済産業省製造産業局化学物質管理課、環境省環境保健部環境安全課、平成30年度PRTRデータの概要—化学物質の排出量・移動量の集計結果—
https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/law/prtr/h30kohyo/04gaiyou/H30PRTRdata.pdf (2020/6/18アクセス)

環境基本法に基づく水生生物環境基準追加項目

項目	水域	類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	河川及び湖沼	生物A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L以下
		生物特A	生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚子の成育場として特に保全が必要な水域	0.02mg/L以下
		生物B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.05mg/L以下
		生物特B	生物A又は生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚子の成育場として特に保全が必要な水域	0.04mg/L以下
	海域	生物A	水生生物の生息する水域	0.01mg/L以下
		生物特A	生物Aの水域のうち、水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚子の成育場として特に保全が必要な水域	0.006mg/L以下

環境省報道資料: <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=16494>



カーボンバランスと予防原則

PRTR対象原料回避から「カーボンバランス」へ

2009年までは当社の環境マネジメントシステム(以下EMS)の自主的な取組としてPRTR(Pollutant Release and Transfer Register)対象原料の回避を目標に掲げていました。2度の化学物質排出把握管理促進法の改正においてPRTR対象物質が変更された結果、EMSのPRTR対象物質の回避という活動目標は、より高い生分解度の洗浄剤を商品化するという当社のコンセプトと矛盾することになりました。

たとえば「ポリオキシエチレンアルキルエーテル(以下AE)」は、代表的な代替物質として「ポリオキシアルキレンアルキルエーテル」が知られていますが、これはAEより生分解度が低いので、これで代替すると製品自体も環境負荷が大きくなります(後に詳細を説明)。また、新たにPRTRに指定された「ポリオキシエチレンアルキルエーテル硫酸塩(AES)」の代替物質は今のところ存在していません。

カーボンバランスとは

そこで当社が現時点で段階的に、独自に考え出した指標が界面活性剤の炭素の非化石(植物)由来と化石(石油)由来の比率を「カーボンバランス(以下CB)」とするものです。非化石由来と化石由来の全炭素数の合計を分母に非化石由来の比率を%で算出します。それぞれの商品は、いくつかの界面活性剤がブレンドされているので、その混合比率で洗浄剤商品のCBを算出し、また、生産量全体で1年毎のCBを算出し、60%以上の維持をEMSの活動目標に設定しました。2018年の全社のCBは、68.9%でした。比較できる数値として、2019年に日本で生産された界面活性剤のうち主要な11種のCBは52.4%と算出されました。

PRTR対象物質であるAEの界面活性剤CBは約40%であるのに対し、代替物質の界面活性剤Aは約20%、同界面活性剤Bは約12%と半分以下になります。CBが低いと相対的に生分解度が低くなりますが、それは当社のデータでも確認されています。

AES(ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸塩)のカーボンバランスを計算してみました。

$$C_{12}H_{25}O-(CH_2CH_2O)_3-SO_3M$$

パーム核油由来 化石由来
ラウリルエーテル ポリオキシエチレン

カーボンバランス: $12 \div (2 \times 3 + 12) \times 100 = 66.7\%$

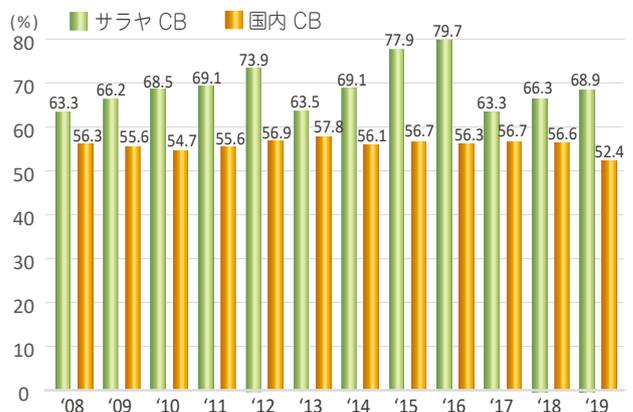
一般的に界面活性剤は、非化石由来の比率の多いものほど生分解性が良くなります。PRTR制度とは環境中への放出量を把握するための届出の制度です。当社には生分解性の悪い代替物質に代える方針はありません。

予防原則

環境影響の発生の仕組みや影響の程度などについて科学的な不確実性が存在する場合の政策決定の考え方として、予防的な取組方法(precautionary approach)または予防原則(precautionary principle)と言うような考え方が1980年代以降に国際的議論として持ち上がりました。1992年の環境と開発に関するリオ宣言において予防的方針が規定されたことを契機に、様々な国際協定の規定にその考え方が採用されはじめました。

企業の商品開発にもこの予防原則の考え方が求められています。サラヤでは、創業時のココヤシ油を原料にした手肌にやさしい手洗い石鹸液の開発以来、常により人にやさしく、自然と調和した商品開発を進めて参りました。また、詰替容器では業界をリードし、2015年度エコマークアワード金賞を受賞しています。サラヤは上記の予防原則をこえて、いつもさらなる環境負荷の低減に努めてきました。この方針に添って、過去には「ヤシノミ® 洗剤」、近年では「ハッピーエレファント」のような環境対応の先発商品が生み出されました。

※: 環境と開発に関するリオ宣言。「環境を保護するため、予防的方針は、各国により、その能力に応じて広く適用されなければならない。深刻な、あるいは不可逆的な被害のおそれがある場合には、完全な科学的確実性の欠如が、環境悪化を防止するための費用対効果の大きな対策を延期する理由として使われてはならない。」



サラヤ商品の界面活性剤生産量カーボンバランスの推移
(日本国内の界面活性剤生産量は「経済産業省生産動態統計年報 化学工業統計編」主要11の界面活性剤について算出。)





ソホロ

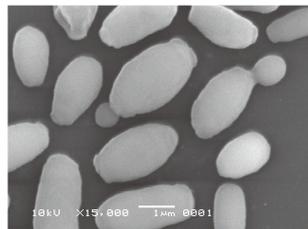
ソホロとは

ヒトの体が脂肪を吸収する仕組みは、肝臓でつくられた胆汁酸が十二指腸で分泌され、脂肪を乳化し、酵素による消化を助けます。同じように、酵母などの微生物は、水に溶けにくい油脂を栄養として取り込みやすいように微生物が自ら界面活性物質を分泌します。この生物が出す界面活性物質をバイオサーファクタント（以下BSと略）と総称します。

ソホロはソホロースリピッド（ソホロリピッド[®]）のサラヤの原料としての商品名で、糖類と油脂を酵母の栄養として与え醗酵させ、酵母（下写真）が分泌したBSを精製・分離したものです。強力な洗浄力がありながら、環境中の生態系ですべて生分解され、二酸化炭素と水に分解されます。人体への安全性は発酵食品と同じくらいです。

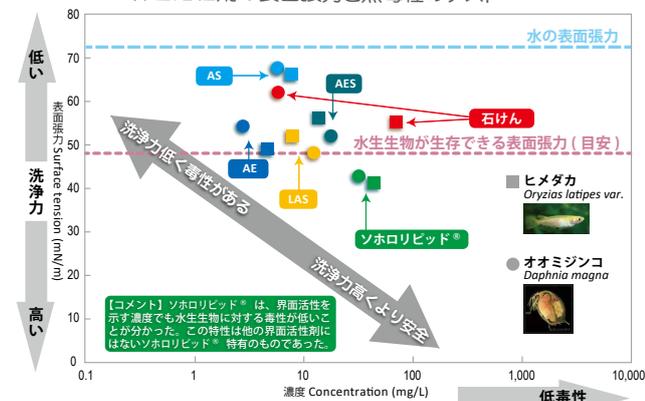
界面活性剤を加えることによって水の表面張力が小さくなり、小さいほど洗浄力が強くなります。左下のグラフは、表面張力と魚毒性のテストとして、ヒメダカとオオミジンコの生存限界を調べたものです。グラフは、ソホロが最も洗浄力があり毒性が低いことを示しています。

食品の乳化剤として利用されているショ糖脂肪酸エステルより濃い濃度でも安全性が高いということがデータで示されています。また、生分解度は石けんと同等の生分解度です。



ソホロを生み出す酵母

界面活性剤の表面張力と魚毒性のテスト



AS（アルキル硫酸塩）高級アルコール系中性洗剤、生分解性は良好
 AE（ポリオキシエチレンアルキルエーテル）高級アルコール系中性洗剤、生分解性は良好
 AES（ポリオキシエチレンアルキルエーテル硫酸塩）高級アルコール系中性洗剤、生分解性は良好
 LAS（直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩）

再生医療に應用

再生医療における細胞の超低温下（約-196℃）保存において、氷晶による細胞の損傷を防ぐ凍結液としてソホロを利用する共同研究をサラヤは大阪大学と進めています。従来ジメチルスルホキシド（DMSO）が使われていますが、これは分化誘導や細胞毒性といった懸念が残ります。ソホロは、低い細胞毒性であり、糖脂質であることから細胞への分化影響が少ないと予想され、「細胞にやさしい保存液」としての応用が期待されます。

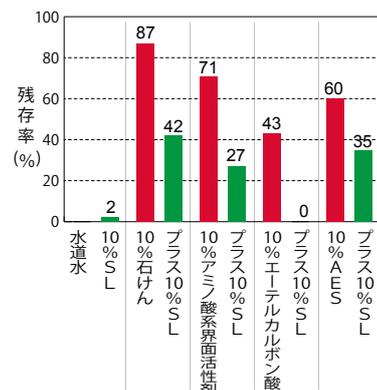
ソホロのすぐれた特長

ソホロには洗浄に好都合な性質がいくつもあります。ひとつは、ソホロ自体が低起泡性であることです。さらにソホロには、酸型とラクトン型が存在していますが、この2種のバランスを調整することで起泡性をコントロールできます。

食洗機や洗濯用の洗剤は、泡立ち過ぎると中に泡がつかまり、洗濯機では外に泡が溢れだすことなどを防ぐため、泡立ちを抑える成分が配合されています。ソホロでは本来が低起泡性であるので、環境負荷の高い泡立ち調整剤を添加する必要がありません。

さらに、すすぎ性が良いのが特長で、水道水と同等です。また、他の界面活性剤に配合することで、すすぎ性を改善することができます。

右下のグラフは界面活性剤10%液にブタ皮を15秒間、その後水に15秒間浸漬して、界面活性剤の残存率を計測したデータです。ソホロ（SL）を加えることで、すすぎ性が向上していることが分かります。ソホロは洗剤以外にも、化粧品や医薬品にも利用可能であり、原料としての販売も行っています。



ソホロ (SL) 配合によるすすぎ性向上のテスト

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

エネルギーをみんなにそしてクリーンに

クリーン エネルギーにかかわる関連会社

株式会社 関西再資源ネットワーク



(株)関西再資源ネットワーク

関西再資源ネットワークは廃棄物を新たな資源として、利活用するためお客さまと共に環境保全に貢献してまいります。

株式会社 関西再資源ネットワークは、日本古来からの伝統技術である「炭化」を中核技術として、食品廃棄物(生ゴミ)等を「炭」として再生し、化石資源の代替として燃料や還元剤などへ利用することで、温室効果ガス削減に貢献することを目指して、高度カスケード利用を推進して行きます。

同社では、食品廃棄物・木質系廃棄物より得られた炭を100%利用し、農業生産を目的とする「循環環境共生型農業生産システム」を開発しています。(環境省エコアクション21 認証・登録)

Rematec & KSN (Thailand) Co., Ltd



Copyright©2013 REMATEC & KSN THAILAND All Rights Reserved.

タイでは、都市ゴミは無処理のまま埋め立てられています。廃棄物をリサイクル素材やサーマルリサイクルするなど再利用の道を拓きます。

Rematec & KSN (Thailand) Co., Ltd(RKT) は、2015年に株式会社関西再資源ネットワークのタイ法人として、タイ・バンコクに設立されました。

タイ行政区から都市ごみ(MSW: Municipal Solid Waste)が大量に発生し、分別など適正な処理がなされないまま、タイ国内で放棄され、それが社会的問題となっています。RKTの持つ要素技術(選別・分級・メタン発酵・炭化など)を地域特性に最適なシステムにして、MSWの高度カスケード利用を実現する事業をはじめました。ゴミのリサイクルがタイ全土に普及することを目指しています。

The Green Biomass Sdn. Bhd.



パーム・プランテーションでアブラヤシのバイオマス廃棄物の固形燃料化やバイオマス・プラントでのメタンガス生成などマレーシアでサーマル・リサイクルを推進します。

The Green Biomass Sdn. Bhd.(TGB) は、持続可能なパーム油をさらに推し進めるため、パーム果房の搾油後の廃棄物をリサイクル利用する事業をマレーシアではじめました。

TGBは、搾油後の果房や果実の中果皮、プランテーションの廃水までを、バイオマスの燃料ペレットなどの固形燃料にすることやバイオマス・プラントでメタンガスを生成し、そのエネルギーをもとに発電するなど、サーマル・リサイクルの事業を推し進めています。クリーンエネルギーを創り、温室効果ガスの削減に貢献できます。これには、サラヤと上記の Rematec & KSN (Thailand) Co., Ltd が出資しています。



搾油後の果房(左)を原料に燃料ペレット(右)を製造

8 働きがいも
経済成長も

働きがいも経済成長も



ワーク・ライフ・バランス

子育てや家族の看護、介護と仕事の両立

サラヤは、従業員がやりがいや充実感を持ちながら働き、業務の遂行と家庭や地域生活、子育て期、中高年期など各年代で多様な働き方を選択できる制度を設けています。具体的には、出産・育児、家族・親の看護や介護などと仕事を両立できる休暇や勤務制度です。

産前・産後の休暇、育児休暇、育児短時間勤務、育児時差出勤制度、在宅勤務制度、所定外勤務免除、時間外労働・深夜勤務の制限、看護休暇など、子育てを支援する制度があります。産前・産後の休暇以外は、男性にも適用されています。

介護が必要な家族を持つ社員は、介護休業、介護短時間勤務、介護時差出勤制度、在宅勤務制度、時間外勤務・深夜業務の制限などによって介護を支援しています。出産・育児と介護休暇取得者の実績は下表の通りです。また、企業主導型保育所「サラヤチャイルドステーション」を2018年4月サラヤ株式会社本社近辺に、2020年2月関東工場内に開設しました。

サラヤ株式会社・東京サラヤ株式会社過去3年の育児・介護休暇取得実績 2016年11月～2019年10月

	女性取得者	男性取得者	男性取得可能者
産前産後休暇、育児休暇	83	1	105
介護休業	6	0	



厚生労働省が実施している「子育てサポート企業」の認定制度のマーク。サラヤは2009年にこの認定を取得し、東京サラヤは2014年に取得しました。

自己啓発やボランティア活動のための休暇

仕事と余暇のバランスもメンタルヘルスや仕事への意欲の充実のために必要です。仕事と私生活との両方の充実が相乗効果や好循環を生み出します。サラヤでは有給休暇以外に下表のように、5つの特別休暇をワーク・ライフ・バランス特別休暇として正社員と嘱託社員に付与しています。



関東工場 サラヤチャイルドステーション入園式 2020年2月

ワーク・ライフ・バランス特別休暇

休暇名	年間日数	目的	例
ボランティア休暇	いずれか計8日まで	地域社会への貢献のための奉仕活動に際し、取得できる(政治・宗教に関する活動は除く)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共団体・自治会等の会議・行事の参加 ・地域消防団活動、清掃活動、防犯活動、安全活動への参加 ・国体・公認団体の競技会等の参加 ・NPO等への参画・支援等 ・児童・福祉施設等への教育・支援活動 ・その他所属長が認めた地域社会との交流等の関する活動
自己啓発休暇		社会人としてのスキルを磨くための行動に際し取得できる	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会、セミナー等への参加 ・展示会、個展、見本市等への参加・見学 ・資格取得の講習日、受験日 ・異業種交流会の参画・参加
メモリアル休暇		本人・家族等の記念日や節目の日に際し、取得できる	<ul style="list-style-type: none"> ・慶弔休暇に付加(延長) ・誕生日、結婚記念日 ・命日、法事 ・その他所属長が認めた重要な行事、イベント等
ヘルスケア休暇		本人や家族の健康維持管理・増進行動に際し、取得できる	<ul style="list-style-type: none"> ・定期健診再検査(精密検査) ・人間ドック ・定期的通院等
リフレッシュ休暇		4日まで	連続公休日の前後(夏季・GW等)に付加し、休暇延長によるリフレッシュ促進のための休暇

(2019年11月現在)



産業と技術革新の基盤をつくらう

カンボジアと東アフリカでコールドチェーンを確立

カンボジアから— JICA 中小企業海外展開支援事業

水は0℃で凍りますがエタノールは濃度によって右表の凝固点になります。サラヤは、-30℃の超低温エタノール液にフィルムパックした食品を浸漬する急速液体凍結機ラ「ピッドフリーザー」を発売しています。これを利用し、安全で高品質の冷凍食品のプロジェクトを進めています。カンボジアで「高度な衛生管理と付加価値加工システムによる食品安全性向上に係る案件化調査」が2017年1月JICAに採択されました。

協力企業のレインボープログレス・エンタープライズ社が養殖したティラピアを加工し、スーパーやレストランにご利用いただいています。従来、ティラピアは雑菌や寄生虫により生食に向かないとされてきましたが、サラヤの微酸性電解水生成装置サニスター（日本商品名「ピュアスター」）の微酸性電解水での殺菌と急速液体凍結機ラピッドフリーザーによる寄生虫の死滅により、安全な刺し身の提供も可能になりました。このティラピアはカンボジア地元レストランで提供されています。

モンバサからカンパラへコールドチェーン

アフリカでは、農林水産省での新規案件「平成30年度アフリカ等のフードバリューチェーン課題解決型市場開拓事業」が採択され、サラヤは東アフリカ地域における食品衛生事業への取組を開始いたしました。これは、2つの日系企業、KAI GLOBAL Limited（本社：ケニア・ナイロビ市）、Cots Cots Ltd.（本社：ウガンダ・カンパラ市、サラヤ出資）との協働での実施です。

東アフリカ諸国では低温輸送車はあまり使用されず、氷が詰められた発泡スチロール箱での輸送が主流です。収穫から消費までの間の食品ロスが多く、新たな食品流通システムの確立が必要です。このプロジェクトでは、サラヤはKAI GLOBAL Limitedと連携して海産物の物流について調査し、ケニアの漁港モンバサからナイロビを経て、ウガンダのカンパラ市への海産物の輸送テストを実施しました。海産物は、Cots Cots Ltd.が経営する日本料理店のYamasen(やま仙)において加工、提供されます。やま仙のキッチンでは、サラヤのサニスターとラピッドフリーザー、その他による食品衛生と加工のサポートを提供。さらに、東アフリカ近隣諸国にも食品加工ビジネスを広げる計画です。

エタノール水溶液の濃度別凝固点						
濃度	0wt%	10wt%	20wt%	30wt%	40wt%	50wt%
凝固点	0.0℃	-4.6℃	-11.2℃	-20.9℃	-30.7℃	-38.1℃
濃度	60wt%	70wt%	80wt%	90wt%	95wt%	100wt%
凝固点	-45.4℃	-50.5℃	-67.0℃	-113.0℃	-120.0℃	-114.5℃

0wt%から60wt%については、アルコール専売事業特別会計研究開発調査委託費による「アルコールの冷媒・蓄冷剤への応用技術に関する研究開発」総括報告書（平成7年度～平成11年度）p.42。70wt%から95wt%については、アルコールハンドブック（第9版）p.41による。100wt%については、化学便覧（改訂5版）。



-30℃のエタノール液に漬けて、一気に凍結するので、細胞膜を壊さず、風味・食感が保たれ、解凍後もジューシーさが残る



ティラピアは雑菌や寄生虫が多く、生食には向かないとされてきた。しかし、サラヤの微酸性電解水サニスターにより殺菌し、ラピッドフリーザーで低温急速冷凍することで寄生虫も死滅する。写真はティラピアの切り身だが、味や食感も刺し身や寿司にするのと鯛に似ているという評価だ。



ウガンダ日本料理店 やま仙(写真上)のスタッフ、前列右から2人目がCots Cots Ltd.(サラヤ出資)の宮下代表、後列中央が山口料理長、やま仙は数カ月先まで予約がうまるほどの盛況。

10 人や国の不平等をなくそう

人や国の不平等をなくそう



ダイバーシティ(多様性)

サラヤ「ダイバーシティ経営企業100選」に選出

「ダイバーシティ経営」とは、「多様な人材を活かし、その能力が最大限発揮できる機会を提供することで、イノベーションを生み出し、価値創造につなげている経営」のことです。個々の企業が置かれた市場環境や技術構造の中で競争優位を築くために必要な人材活用戦略といえます。福利厚生やCSRとしてではなく、あくまでも経営戦略の一環として、自社の競争力強化という目的意識を持って戦略的に進めることが重要です。

以上の考えから、経済産業省は「ダイバーシティ経営によって企業価値向上を果たした企業」を表彰する「ダイバーシティ経営企業100選」（経済産業大臣表彰）を2012年度から実施しています。サラヤは、2012年度の最初の42社に選ばれました。



障がい者雇用

伊賀工場では、2018年11月に三重県立特別支援学校伊賀つばさ学園の高校2年生1名を10日間の企業実習に受け入れた他、12月に社会福祉法人維雅幸育会のご協力を得て、障がい者講習会を工場内で開催し、各部署の管理者を中心に伊賀工場36名と大阪工場7名が講習を受けました。

伊賀工場では、2019年3月からジェルポンプのカバー掛け・着着作業に障がい者が携わり、現時点では4名と健常者の従業員3名の計7名のパート従業員がこの工程を受け持っています。

障がい者の法定雇用率の達成率

年度	2015	2016	2017	2018	2019
法定雇用率	2.0%			2.2%	
サラヤ スマイル産業	100% 雇用率 2.05%	100% 雇用率 2.09%	100% 雇用率 2.18%	100% 雇用率 2.97%	100% 雇用率 2.55%
東京サラヤ	67% 雇用率 1.34%	71% 雇用率 1.41%	93% 雇用率 1.85%	100% 雇用率 2.61%	100% 雇用率 2.34%

従業員の内訳と正社員・有期雇用社員・パートタイマーの比較 2019年10月末現在

	役員		正社員		嘱託		準社員		パートタイマー		直接雇用計		派遣	合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
サラヤ	29歳以下	0	0	97	126	2	3	0	2	16	102	115	233	348
	30～49歳	1	1	413	170	8	3	9	28	26	144	457	346	803
	50歳以上	12	2	120	30	36	8	2	5	44	114	214	159	373
	計	13	3	630	326	46	14	11	35	86	360	786	738	1,524
	男女計	16		956		60		46		446		1,452		
東京サラヤ	29歳以下	0	0	52	45	0	0	0	0	2	2	54	47	101
	30～49歳	0	0	157	69	2	0	0	1	2	22	161	92	253
	50歳以上	3	0	51	8	15	0	0	2	4	12	73	22	95
	計	3	0	260	122	17	0	0	3	8	36	288	161	449
	男女計	3		382		17		3		44		449		
スマイル産業	29歳以下	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	3	1	4
	30～49歳	1	0	8	0	0	0	0	3	0	7	9	10	19
	50歳以上	1	0	2	1	0	1	0	4	7	20	10	26	36
	計	2	0	13	1	0	1	0	7	7	28	22	37	59
	男女計	2		14		1		7		35		59		
合計	18	3	903	449	63	15	11	45	101	424	1,096	936	30	2,062
男女計	21		1,352		78		56		525		2,032		30	2,062
	社会保険		加入		法定の加入要件を満たせば適用									
	産前・産後休業		法定通り適用										正社員・嘱託社員の 新規雇用：116名 退職者：68名	
	育児休業		原則：対象の子供が1歳に到達する日の前日迄 例外1：保育園に入所できない場合、その後6ヶ月延長 例外2：例外1の状況で会社が認められた者に限り、その年度末または2歳の誕生日前日まで再延長										管理職の比率：16.2% その他の全従業員比率：83.8%	
	定年退職金		あり		なし									



つくる責任つかう責任

品質保証とISO、TQM

サラヤグループ サステナビリティの基本的な考え方について

サラヤは、2015年までの種々の活動を、SDGsに編成し直して、SDGsの達成を事業の目標と結び付けて運用をしています。ことにSDGsは、社会・経済・環境の3側面においてバランス良く統合された形で達成されることが大切で、経済のみならず、事業の社会性や環境へのインパクトに配慮し、また環境改善を事業に取り込むことを目指しています。サラヤは、このSDGsの達成を目指して、従来の「TQM推進本部分針／TQM活動方針」及び「環境方針」とビジネスの基本理念を統合し、「サステナビリティ推進方針」として制定し、運用をいたします。

サステナビリティ推進方針

サラヤのミッションは、世界の衛生・環境・健康の向上に貢献することです。この達成には経済のみならず、社会・経済・環境の側面が必要で、当社のみならず、NPOなど種々の団体や関連会社などを通じて、この実践と目標達成を目指します。持続可能な社会の達成に向けては、温室効果ガス発生の抑制、海洋プラスチック汚染の防止、生物多様性の減少への歯止め、抗生物質への耐性菌の出現(AMR)への対応があり、さらに格差の拡大や政治的不安定など多くの問題が山積しています。

微力で小さな一歩であっても、サラヤは国内外のネットワークを活用して、衛生・環境・健康の面からより良い商品とサービスをご提供し、そしてビジネスを通じてSDGsの達成に貢献できるように事業を発展させます。そして今、社会・経済・環境で入り組んだ諸課題に、効果的に取り組むことを経営方針に、SDGs目標達成を推進方針にあげて、社内外全体でその達成に努力いたします。

行動指針

サラヤグループのサステナビリティ推進のための行動指針を以下に定めます。

1. 事業活動を通して社会的課題を解決
 起業の精神を継承し、ソーシャル・ビジネスとして社会問題解決のニーズを掘り起こし、新しい市場ニーズの発見とそのニーズに対応できるソリューションを提案し、具現します。
 の削減など、SDGsの各ゴールに貢献する商品を開発し、諸事業を推進します。また2050年には、再生可能エネルギー活用100%を目指して、計画を開始します。
 また、取扱商品のサプライチェーンの資源利用状況を把握し、持続可能なバリューチェーンの構築を目指します。それら運用管理のための仕組みであるマネジメントシステムを有効活用し、事業のマネジメント強化と詳細なガバナンスの開示を行います。
2. 社会との信頼関係の構築
 すべての利害関係者とのコミュニケーションを深め、責任ある対話とともに社会のニーズや期待を受け止め、対応を実践することにより強固な信頼関係を構築します。
3. 真のグローバル企業の確立とガバナンス強化によるサステナビリティ経営の実現
 競争分野より、ニッチ分野でグローバルな生産と営業体制の確立を目指します。また、グローバル・ガバナンスを各種コミュニケーション手段の駆使によって強化します。公平性及び透明性のあるサステナビリティ経営を実現します。
4. 地球環境の保全、資源の持続可能な活用を目指した新商品の開発、新事業の創設、バリューチェーン、事業活動マネジメントの強化
 地球温暖化対策、生物多様性及び生態系の保全、資源リサイクル・リユーズ・リデュースの3Rをめざし、地球環境の保全を考慮しながら事業活動を行います。また途上国の新生児や妊産婦の死亡率
5. サステナビリティ推進に対する従業員教育の実施
 「サステナビリティ推進」を実践するのは、グループ構成員である全従業員の一人ひとりです。一人ひとりがSDGsを理解し、社会的課題解決認識を醸成できるよう、従業員教育を行います。そこで「サステナビリティ推進方針」に基づき本来業務を通してTQMのフレームワークを活用し、それぞれの部門で目標達成を果たします。

2019年(令和元年)5月1日

サラヤ株式会社 代表取締役社長
サステナビリティ推進本部 本部長

更家 悠介

ISO 認証取得状況

ISO	対象組織	部署	取得年	認証番号
9001	サラヤ株式会社	本社、工場	1999	 JCQA JSCA-0608 JCQA-E-0319
	東京サラヤ株式会社、スマイル産業株式会社	本社	2002	
	㈱オフィスジャパン	第2機器工場	2004	
14001	サラヤ連結3社	全社	2001	C2017-03750
	㈱オフィスジャパン	第2機器工場	2014	
9001	Saraya MFG. (Thailand)Co., Ltd	全社	2008	2516-2005-AQ-RGC-UKAS
	Saraya (Dongguan) Hygiene Products Co., Ltd.	全社	2005	C2015-03059-R1
	Saraya MFG. (Thailand)Co., Ltd	全社	2006	00118Q33773R0M/4500
	Guilin Saraya Biotech Co., Ltd.	各部署	2018	2005/23816.10
	Saraya Europe SAS	各部署	2018	KLR0403572
	Goodmaid Chemicals Corporation Sdn.Bhd.	各部署	2000	801071
13485	サラヤ株式会社	本社、開発部門、BC研、伊賀工場	2006	Q5 060114 0009
22000	サラヤ株式会社、東京サラヤ株式会社	食品衛生インストラクター検査室、各本社食品衛生部	2008	JCQA-F-0006
	Guilin Saraya Biotech Co., Ltd.	全社	2018	001FSMS1800260

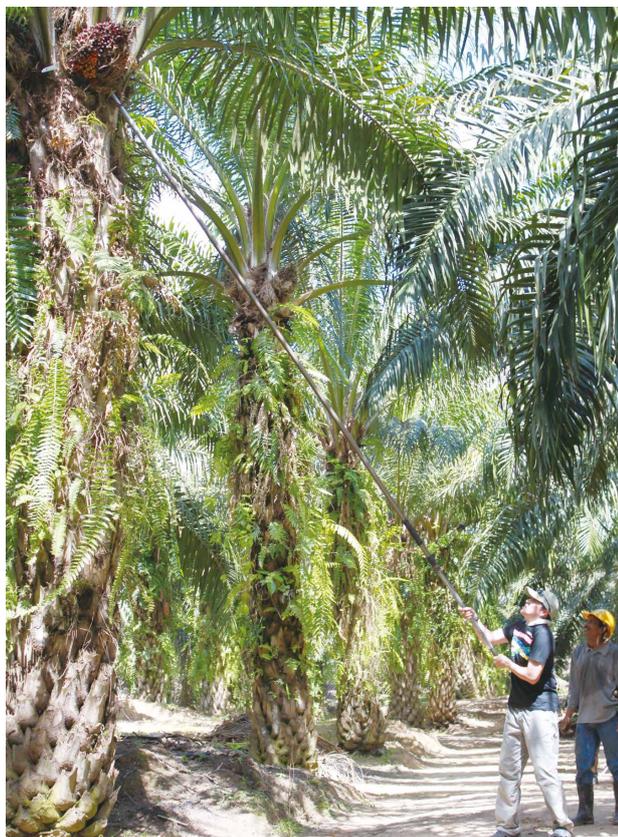


世界の食を支えるパーム油

NPO CDP(Carbon Disclosure Project) は世界の森林破壊の原因の8割は、牛、木材、大豆、パーム油という4つの農畜産物に対する需要であると報告しています。2005年まで世界で最も生産・消費されていた植物油は大豆油でしたが、2006年にパーム油が大豆を上回って以来、大豆油との差は開きつつあります。2020年のパーム油生産は、世界で7,734万tでしたが、マレーシアの生産量が横ばいであるのに対して、インドネシアの増産が続いており、世界全体の57%を占めています。単位面積当たりの収穫率は、マレーシア3.88t/ha、インドネシア3.81t/haとなっています。現地紙のジャカルタ・ポストなどによると、インドネシアの生産量増加は主に40%を占める小規模農家の生産効率(大規模農園の1/3程度)の底上げによって達成されているようです。

パーム油の生産地

パーム油の生産はインドネシアとマレーシアで全体の89%(2019年)を占めていて、ボルネオ島が最大のオイルパーム生産地となっています。



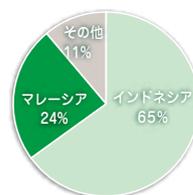
アブラヤシ果房の収穫



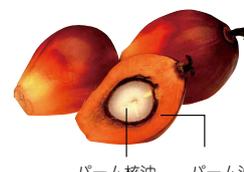
日本では、パーム油の大半は、マーガリン、ショートニング、ココアバター代替品などとして食品加工用やポテトチップスなどの揚げ油として利用されていますが、パーム核油は逆に半分以上が非食用で、石鹸、洗剤、化粧品、キャンドル、工業製品の原料になっています。

これほど世界に需要が広がったのは、他と比べて安価であることです。パーム油は1ha当たりの収穫率がグアテマラ5.18t/ha(2018年)、世界平均では3.55t/ha(2018年)と高く、2番目の大豆油の2.8t/ha前後を引き離しています。その上、赤道直下のマレーシア、インドネシアなどの労働対価が安価な地域でオイルパームが生育することも価格の低い理由です。

安価なオイルパームの背後には、児童労働や強制労働をはじめ過酷な状況での違法労働、違法伐採など、様々な問題が内在しています。このような背景の中でサラヤは、持続可能な原料調達を進めています。次ページ以降に、その詳細をご紹介します。



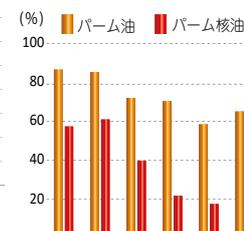
2019年度パーム油生産国生産量比率 (Oil World Annual 2020)



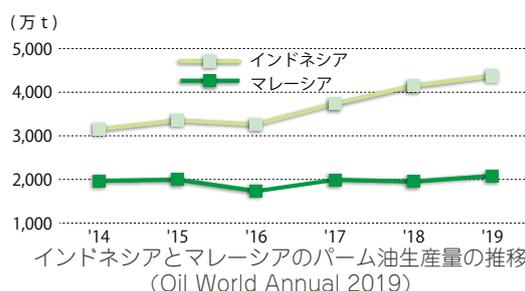
パーム核油 パーム油
アブラヤシ果実



2019年度世界の植物油生産量 (Oil World Annual 2020)



日本のマレーシア輸入比率推移 (Oil World Annual 2019)



インドネシアとマレーシアのパーム油生産量の推移 (Oil World Annual 2019)

持続可能なパーム油のための円卓会議

2004年に発足した NGO Roundtable on Sustainable Palm Oil(以下 RSPO)は、持続可能にパーム油の生産、加工、流通を行うために、8つの原則と43の基準(2013年制定、5年ごとに改定、2016年にRSPO NEXTを発表)が定められています。アブラヤシ農園からすべての工程でこれらの原則と基準に則って製造されたRSPOが認定するパーム油をCSPO(Certified Sustainable Palm Oil)として、2018年には世界のパーム油の約19%(1,393万t)が出荷されました。また、RSPO農園は出荷した量に見合ったクレジットを発行することができます。

2020年RSPO認証油使用の目標

サラヤのご家庭用商品については、アブラヤシ由来の原料をセグリゲーションもしくはクレジットのどちらかのRSPO認証油を用いてきました。業務用も含めたすべてのRSPO認証油使用については、認証パーム核油(CSPKO)やパーム油及びパーム核油の誘導体が市場に極めて少ない現実(認証パーム種子のみ)とそれが今後も当分続くという予想を踏まえて、すべての原料についてセグリゲーションのRSPO認証油を使用するという従来の2020年目標を見直しました。

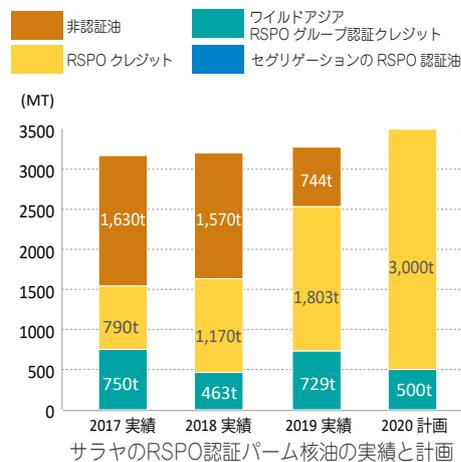
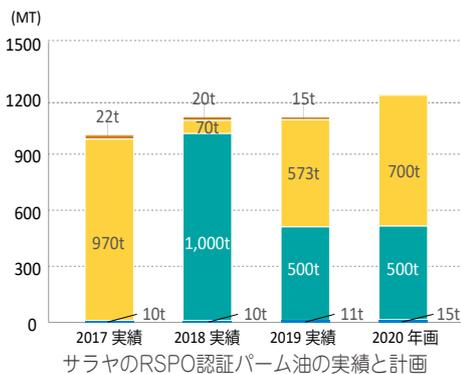
サラヤは、新たな2020年目標としてすべての自社製品(国内販売)において、ブック&クレーム方式(クレジット)を含むRSPO認証油を使用することを目指し、2030年には海外を含めたグループ全体でのRSPO認証油の使用を目指します。サラヤのRSPO認証パーム油とRSPO認証パーム核油の使用実績は右グラフの通りです。



アブラヤシ

RSPO 8原則

1. 透明性へのコミットメント
2. 適用法令と規則の遵守
3. 長期的な経済・財政面における実行可能性へのコミットメント
4. 生産及び搾油・加工時におけるベストプラクティス(最善の手法)の採用
5. 環境に対する責任と資源及び生物多様性の保全
6. 農園、工場の従業員及び、影響を受ける地域住民への責任ある配慮
7. 新規プランテーションにおける責任ある開発
8. 主要活動分野における継続的改善へのコミットメント



サラヤが使用しているRSPO認証油の種類

セグリゲーション

RSPO-1106041

セグリゲーションはアブラヤシ栽培から加工、流通などすべての工程で、他の非認証油と混合されことなく管理し、栽培から加工、流通まで環境や労働者への配慮が適切に行われて生産されていることがRSPOによって認証された原料です。ハッピー エレファント シリーズ商品に使われています。Identity Preservedは1農園原料のみを使用したもの。

ブック & クレーム(クレジット)

RSPO-1106041

生産者が認証パーム油の生産量に基づいてクレジットを発行し、それをメーカーが購入することで持続可能なパーム油に貢献することができます。2016年まではこの取引システムが民間企業に委託されていましたが、2017年1月よりRSPO認証制度直轄の運用に変更され、マークが変更されました。



キナバタンガン下流域の持続可能なアブラヤシ栽培を支援

RSPO認証パーム油

RSPO の集計によると、RSPO 認証パーム油は、2020 年度 (10 月現在) は約 1,664 万 t で世界の全生産量の 19%、RSPO 認証パーム種子は 373 万 t です (RSPO 認証パーム核油の記載はなし)。

サバ州ではクラッシャーと呼ばれるパーム種子の搾油工場が小規模であることが多く、RSPO 認証を得られていないのが現状です。認証のアブラヤシ種子もクラッシャーが非認証であるものが多く、非認証油として流通しています。一時は認証パーム核油の不足から、ブック&クレームのクレジット価格が 1t につき 70~100 ドルと高騰していましたが、現在は下がっています。

ワイルドアジアを通して小規模農家を支援

ワイルドアジアは2003年に設立されたソーシャルエンタープライズで、マレーシアを本拠とし、熱帯雨林の保全や自営のスマール・ホルダー (小規模農家) の RSPO 認証を推進する支援活動として Wild Asia Group Scheme (WAGS) を進めています。サバ州では、アブラヤシを栽培するスマール・ホルダーの若い世代が、RSPO 認証に積極的でワイルドアジアが指導する農業や肥料の使用を減らして、収穫を上げる WAGS を実践しています。彼らの親の世代は、保守的で伝統的な手法に固執して、変革を受け入れることに消極的な傾向があります。

サラヤが見学した WAGS のスマール・ホルダーは、ボルネオゾウや猪が農園に入り込むことを防ぐために、試験的に養蜂を利用していました。ゾウは蜂の巣があると警戒して立ち入らないことを利用しています。また、生物多様性への配慮や観光の邪魔にならないよう景観にも気を配った栽培を進めています。

2019年にサラヤは、1,229 t 分のパーム油とパーム核油のブック&クレームのクレジットをワイルドアジアを通じて入手しました。これは、RSPO グループ認証を得たこれらのスマール・ホルダーが、アブラヤシ果房をミルに売った分の RSPO 認証クレジットでした。これらスマール・ホルダーは購買担当者も視察で訪れており、調査員の中西とはオランウータンのための吊り橋プロジェクトで協力し合った地域住民でもあり、トレーサビリティの確実性も確保されています。さらにスマール・ホルダーの支援にも役立っています。サラヤは今後も引き続きワイルドアジアを通じて、スマール・ホルダーからクレジット購入を続ける所存です。



Gomantong村にある小規模農家(1.2ha)は、蜂の巣を入口付近に設置している。ゾウは蜂の羽音を警戒して近寄らない。このことはアフリカゾウで確認されている。



Kemajuan Tanah Jujurコレクションセンター。まず車ごと重量を測り、その後荷台のアブラヤシ(果房)をおろし、再び車を計量、その差に当日のレートで、一定の搾油量の割合で換算し、買い取られる。センターは今まで個別にミルに売られていたアブラヤシをまとめて搾油所に輸送する。残念なことに、このセンターはまだRSPO認証が取れていないので、認証油としては流通できない。



WAGSの取組のひとつである表彰制度。B&Cクレジットは一部をワイルドアジアの取り分として運営費に充てている。取組がすぐれているスマール・ホルダーを表彰し、芝刈り機などの農具の賞品にも還元されている。写真の表彰式(2017年12月)では、サラヤがクレジットを購入した3つのスマール・ホルダーに我々から表彰状を授与した。

12 つくる責任
つかう責任

サラヤの持続可能な商品開発

ラカントとMDGs

ラカントシリーズの原料である羅漢果は、中国のチワン族自治区の桂林市永福県付近に自生していたウリ科の植物で、桂林市で栽培されている作物です。サラヤは1998年に中国桂林市と共同ビジネスの契約（羅漢果甘味料開発プロジェクト覚書調印式）を交わしました。当時中国はまだ貧しく、創業者がこの当時の桂林農民の貧しさに非常に同情し、「羅漢果は桂林で栽培される植物だ。日本の企業が進出して、これを独占してはいけない。会社の利益よりも、桂林を活性化させ農民の生活を向上させることを第一義な目的としてビジネス展開すればよい」と決断しました。日本国内でのみ特許登録しましたが、国際的には技術開放しました。今ではアメリカでもモンクフルーツとして羅漢果は人気ですが、これがそのはじまりです。現在サラヤUSAのアメリカ市場でのラカントの売上は非常に堅調で、既に日本国内を上回りました。

SDGsに先立ち、2000年9月に国連で「国連ミレニアム宣言(United Nations Millennium Declaration)が採択され、この宣言と1990年代に開催された主要な国際会議やサミットで採択された国際開発目標を統合し、MDGs(ミレニアム開発目標)として枠組がまとめられました。桂林市では、サラヤがラカントを通して、このMDGsの「1. 極度の貧困と飢餓をなくそう」に貢献していたのでした。

桂林工場

サラヤは、羅漢果の持続可能な利用のために農薬使用などについて栽培方法をコントロールできるように農家と契約を交わしています。契約農家が生産している羅漢果は、厳しい農薬管理のもとで栽培されています。

サラヤが2015年に桂林市に設立した桂林工場(桂林莎羅雅生物技术有限公司)では、高品質で安全な羅漢果エキスを抽出し、ラカントシリーズ商品の原料を供給しています。徹底したトレーサビリティのもと原料の生産から製造まで管理しています。

2020年9月7日に同工場は食品安全認証の国際規格であるFood Safety System Certification(FSSC)22000の認証を取得しました。FSSC22000認証は、HACCP(食品安全管理のための危害要因分析必須管理点)の運営やISO22000取得をベースにした非常に難度の高い国際認証で、商品への国際的な信頼度のさらなる向上につながります。



中央が創業者更家章太、その右更家悠介(サラヤ社長)



羅漢果畑と収穫された羅漢果



羅漢果契約農家



桂林莎羅雅生物技术有限公司(左)と管理・研究棟(右)

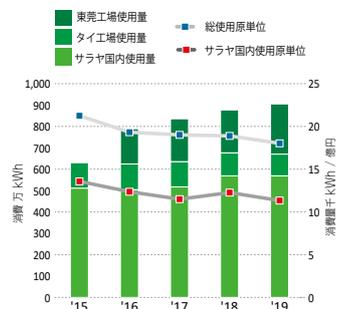
MDGs(ミレニアム開発目標)

- | | |
|--|--|
|  1. 極度の貧困と飢餓の撲滅 |  5. 妊産婦の健康の改善 |
|  2. 初等教育の完全普及 |  6. HIV、エイズ、マラリアその他疾病の蔓延の防止 |
|  3. ジェンダー平等推進と女性の地位向上 |  7. 環境の持続可能性確保 |
|  4. 乳幼児死亡率の削減 |  8. 開発のためのグローバル・パートナーシップの推進 |

気候変動に具体的な対策を

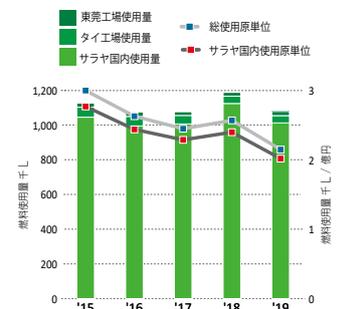
環境マネジメントシステム

電力



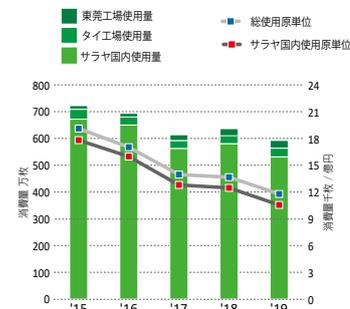
消費電力千 kWh	2015	2016	2017	2018	2019
サラヤ国内	5,114	5,042	5,171	5,687	5,689
タイ工場	1,200	1,200	1,182	1,077	1,016
東莞工場	1,560	1,641	2,000	2,002	2,343
サラヤ国内原単位	13.57	12.36	11.49	12.23	11.33
総原単位	21.25	19.32	19.02	18.89	18.02

燃料



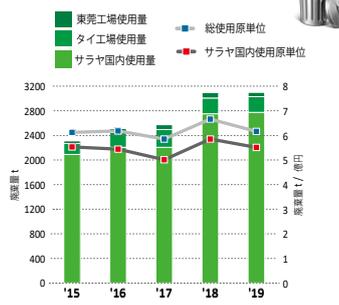
消費量千 l	2015	2016	2017	2018	2019
サラヤ国内	1,045	995	1,006	1,124	1,012
タイ工場	57	55	49	42	42
東莞工場	24	25	21	22	24
サラヤ国内原単位	2.77	2.44	2.29	2.40	1.93
全社原単位	3.0	2.63	2.45	2.57	2.06

紙資源



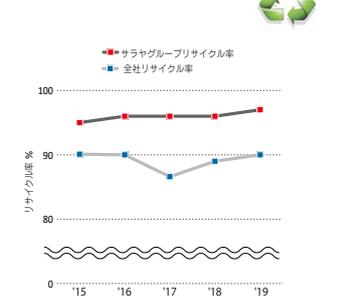
消費量(千枚)	2015	2016	2017	2018	2019
サラヤ国内	6,720	6,500	5,637	5,861	5,313
タイ工場	357	302	295	295	325
東莞工場	134	137	214	265	289
サラヤ国内原単位	17.84	16.00	12.82	12.49	10.58
全社原単位	19.14	17.05	13.96	13.69	11.81

廃棄物



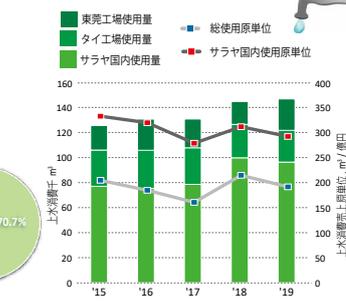
廃棄物量 t	2015	2016	2017	2018	2019
サラヤ国内	2,090	2,206	2,280	2,751	2,773
タイ工場	178	239	289	256	255
東莞工場	42	66	78	87	69
サラヤ国内原単位	5.41	5.45	5.03	5.93	5.52
全社原単位	6.15	6.15	5.86	6.67	6.17

リサイクル



リサイクル率	2015	2016	2017	2018	2019
サラヤ国内	95%	96%	96%	96%	97%
タイ工場	39%	20%	13%	16%	19%
東莞工場	91%	78%	81%	83%	79%
全社	90%	89%	86%	89%	90%

上水



上水使用量 m³	2015	2016	2017	2018	2019
サラヤ国内	77,107	75,288	70,484	99,804	96,350
タイ工場	28,969	30,539	29,226	26,663	25,372
東莞工場	19,567	24,902	22,996	18,291	25,116
サラヤ国内原単位	205	185	161	215	192
全社原単位	333	320	279	312	293



温室効果ガス

2019年10月9日に「再エネ100宣言 RE ACTION」が発足し、サラヤはこれに参加し、2050年に再生可能エネルギー100%にすることを宣言しております。(https://saiene.jp/message)

「温室効果ガス総排出量 算定方法ガイドライン Ver.1.0、環境省総合環境政策局 環境計画課」をもとに算定。サラヤ連結3社の温室効果ガス排出量

スコープ	CO ₂ 換算計	原単位	占有率
1	2,482tCO ₂ e	4.94t CO ₂ e/ 億円	3.2%
2	3,008tCO ₂ e	5.99t CO ₂ e/ 億円	3.8%
3	72,722tCO ₂ e	144.86t CO ₂ e/ 億円	93.0%
計	78,212tCO ₂ e	155.80t CO ₂ e/ 億円	100.0%

排出源の分類	CO ₂ 排出量 (t CO ₂ e)
購入した原料、容器包装資材	53,261t
資本財(事務所・設備・備品など)	7,399t
水やエネルギー供給	584t
輸送、配送に伴う排出量	10,707t
事業から出る廃棄物	130t
従業員の出張に関わる排出量	268t
従業員の通勤に関わる排出量	303t
製品の使用に関わる排出量	37t
機器製品の廃棄に伴う排出量	33t

一刻も早いカーボンニュートラルを

コロナ危機に隠れているが気候危機は現在進行しつつある危機で、このまま放置すればあと数十年で文明崩壊の可能性もある深刻なリスクである。2019年、気候が非常事態にあり緊急の対策を取らなければならないという認識が世界に一気に広がった。その要因は極端な気象の頻発、科学的知識の蓄積、青少年の国際的ストライキであるグローバル気候マーチなどである。オーストラリアのNGO、CEDAMIA（気候非常事態宣言と動員）の統計によれば、10月23日現在、31カ国の1,803の自治体が気候非常事態宣言を行っている。宣言を行った自治体に住む市民の合計は8.7億人にも達する。

日本では2019年9月以降、2020年10月23日までに、長崎県壱岐市をはじめ42の自治体が気候非常事態宣言を行った。そのうちの29の自治体は2050年カーボンニュートラル目標を掲げている。また環境省調べによれば、10月23日時点で日本の160の自治体が2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ（カーボンニュートラル）を表明している。

それでは他の国はどうであろうか。グラスゴーでUNFCCC COP26（気候変動枠組み条約第26回締約国会議）を予定するイギリスについて紹介しよう。現在480の自治体が気候非常事態宣言を行っている。自治体ばかりではなく、大学、建築学会、医師会、美術館、博物館、劇場、病院などが続々と気候非常事態宣言をしている。



東京大学名誉教授

山本良一

さらに驚くのは、160を超える自治体が2030年カーボンニュートラルを目標にしていることである。イギリスの国家としてのカーボンニュートラル目標年は2050年であるから、20年前倒しということになる。また100以上の自治体が既に気候非常事態行動計画を公表しているのである。

COP26の開催予定地グラスゴーはイギリスで最初のカーボンニュートラル都市を目指す名乗りを上げ、ライバルのエジンバラも2030年カーボンニュートラルを目指すと対抗している。ヨーロッパの環境都市に選ばれたこともあるブリストル、グリニッジ天文台で有名なグリニッジ、女王陛下のお膝元のバッキンガム、シェークスピアの故郷ストラトフォード・アポン・エイボン、イギリス最古の町コルチェスター、大学町オックスフォード、イギリスで最も環境に優しい町に選ばれたウィルトシャー、大聖堂のある町ウィンチェスターなどが続々と2030年カーボンニュートラルを目指している。産業革命発祥の地マンチェスターは2038年だが同じく産業革命で活躍したバーミンガム、シェフィールド、ニューカッスルは2030年を目標としている。ロビンフッドの故郷ノッティンガムが新たに2028年を目標年としてレースに参戦した。

日本には1747の自治体があるが、気候非常事態宣言した自治体はわずか42であり、2050年より前にカーボンニュートラルを目指している自治体はない。ゼリ・ジャパンの更家悠介理事長は2020年2月21日に気候非常事態宣言を行っている。サラヤは衛生、環境、健康の分野でサステナブルカンパニーとして既に揺るぎない地位を築いているが、この気候危機の時代にあっては、一刻も早くカーボンニュートラルを達成して時代をリードして行って欲しい。



われらをめぐる海

海洋プラスチックについては始める前に、『われらをめぐる海』をもとに「海洋」について解説いたします。少し古い書籍ですが、著者はレイチェル・カーソン、代表著書は『沈黙の春』、コロナの集計などでよく話題に上ったジョンズ・ホプキンス大学の大学院で学んだ海洋生物学者です。

海の起源は 25 億年以上前の地球の起源に始まります。太陽から飛び出したガスの固まりが、激しく軌道を回り自転しながら液状になり、重い物質は中心へ軽いものは表面へ選り分けられ、表面に固まった玄武岩と花崗岩の層ができました。その過程で起こったのは、太陽の重力と地球の自転によって起こる潮汐波のために地球から表面の層がはぎ取られて月ができたことです。月は、はぎ取られた岩石からなり、その窪みが太平洋そのものです。そして海は太陽と月の 2 つの影響を受け、今も大潮と小潮をリズムカルに繰り返しています。

深層海流と月の波

海は、太平洋で海底から湧き上がり赤道を西へ、大西洋の北へと流れる表層の暖かい流れから、グリーンランド沖で沈み込み海底を流れる深層海流になり西に進み、太平洋の湧き上がりにつながっています。この 1000 年の循環の中で、海底にたまったミネラルも循環させています。大西洋の沈み込みがグリーンランドの氷床の融解で遅くなっていると心配されています。

海水は、大気の 3000 倍の熱を吸収します。今までの温暖化した大気の熱は、3000 倍の吸収力で表面の海水を暖めてきました。太陽と月の引力の潮汐力で冷たい深層海流が表面

に上がることで地球が冷えるのですが、それには周期があると考えているのがスウェーデンの海洋学者、スヴェン・オットー・ペッテルソン (Sven Otto Pettersson, 1848-1941) です。淡水の混ざった海面近くの海水と濃い深海水には境界面があり、これは潮汐によって波打っていて、これをペッテルソンは「月の波」と名付けました。この「月の波」は、スウェーデンのニシン漁に関連していて、ニシンが「月の波」の頂上とともに移動していることを計測により知っていました。

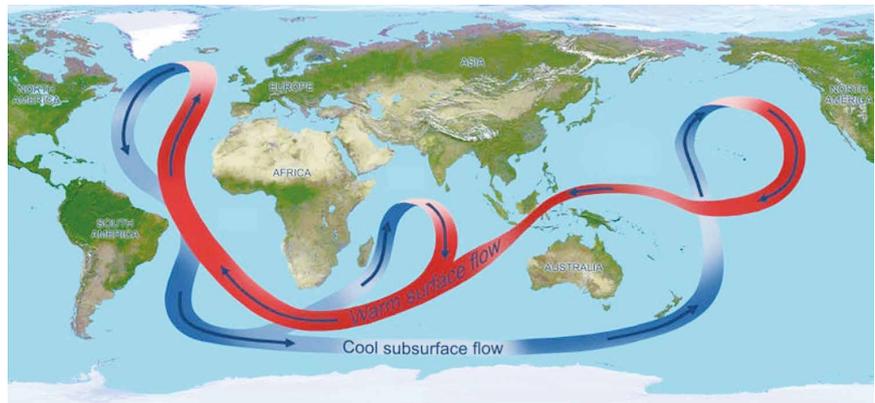
「月の波」はまた、気候変動とも関連し、冬至に太陽と月と地球が最大の引力を海に及ぼすような位置にあると深海水が表面近くまで湧き上がり、厳寒になると考えました。そのピークの厳寒は 1433 年のことで、前後数世紀にわたって影響がみられたということです。最少になるのは 2400 年頃だとペッテルソンは考えました。つまり、折り返して、後 9 世紀間ほど「月の波」は低く、表層の海水は暖まったままというのがペッテルソンの考えから導き出される結論です。温室効果ガスの蓄積でさらに上からも暖められています。エルニーニョやラニーニャ現象も貿易風の東風が冷たい深海水を引き上げることから起こっていて、東風の強弱に起因する現象です。海が地上の気候を左右しています。

マリンスノウ

プランクトンの死骸や魚の糞などは、養分(ミネラル)を含んだまま静かに海底に沈んでゆきます。これは海底に沈みながら互いに集まって、海底に雪が降るように積もっていくので、マリンスノウと呼ばれています。海面近くでは、太陽光が届き、植物プランクトンの光合成により養分が吸収



海底にゆっくり沈んでゆくマリンスノウ。



海底をゆっくり流れる深層海流は、太平洋から湧き上がり、大西洋に沈み込む。1000年をかけためぐりが、海洋生物にミネラルを供給している。

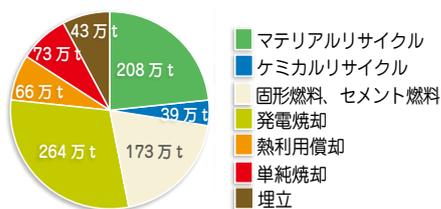
され、養分は薄くなっていきます。海底にたまった養分をまた海面近くへと運び、循環させるのが、深層海流です。

軽くて便利なプラスチック

プラスチックは19世紀に発明され、第2次世界大戦中に重金属が軍事利用で不足したため、生活用品は安価なプラスチック製になって、ますます大量生産されるようになりました。軽くて安価なプラスチックは、今では容器包装用に大量生産、大量消費されています。大量消費されたプラスチックで、使用後に適切に廃棄処理されなかったものは、風に吹かれて道路をさまよひ、やがて川に流れていき、最後は海に流れ出ます。また、故意に海に廃棄される廃棄物も大量にあります。特に途上国から流れ出るプラスチックごみが多いと言われています。これらのプラスチックは、5ヶ所の海流の渦にたどり着きます。

この渦の中や渦にたどり着く過程で、消滅することなく、マイクロプラスチックへと細かく断片化され、生物に取り込まれたり、海中に残っても、マリンスノウとなって沈んでゆきます。形を保ったプラスチックも、フジツボなどの生物が着生し、やがて海底に沈みます。2016年開催のWorld Economic Forum、通称ダボス会議で公表された予想では、このペースで海にプラスチックが流れ出た場合2050年には海洋プラスチックの総量は、少なくとも2014年時点の魚の総量に達するだろうというものでした。今も魚の減少は進んでいるので2050年を待たずに逆転することになります。

チャールズ・モアの『プラスチックスープの海』によると2008年の調査でによると、既に北太平洋還流には、重量で動物プランクトンの6倍のプラスチックが存在していたと書かれています。マイクロプラスチックは、動物プランクトンの餌である植物プランクトンに似ているので、食物連鎖に取り込まれています。漁網は、漁が終わると海に捨てられることが多いそうで、最も多い海洋プラスチックごみであり、最も海洋生物に害を及ぼしています。

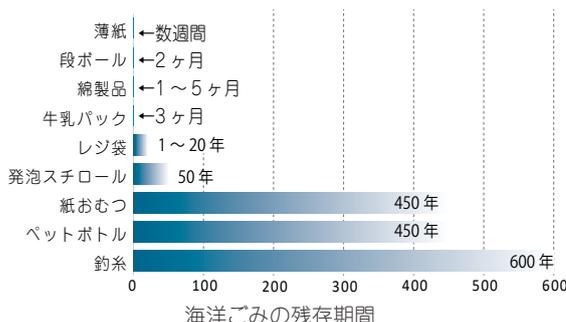


プラスチック廃棄のリサイクル状況
(一般社団法人 プラスチック循環利用協会)

『プラスチック「革命」』

ZERI ジャパンの名誉顧問のグンター・パウリ氏の著書である海と地球を蘇らせる『プラスチック「革命」』(下写真)にサラヤが支援しているZERI ジャパンが編集協力をしています。サラヤもこれに全面的支援をしております。同書は、レース・フォー・ウォーター代表のマルコ・シメオーニ氏との共著によるもので、先に出版された英語版を日本語翻訳し、日経BPより出版されました。巻末に日本語解説として、ZERI ジャパン理事長の更家悠介(サラヤ社長)が寄稿しています。

同書によると、私たちはペットボトルの水やプラスチックの食品容器、魚介類を通して、週に5gのプラスチックを食べていることになり、それはちょうど1枚のクレジットカードと同じ分量だそうです。これ以上、プラスチックが海に流れないようにするためには、特に途上国で、陸上でプラスチック廃棄物を価値ある資源として利用できる経済的な仕組みが必要です。ブルーエコノミーの提唱者であるパウリ氏とシメオーニ氏がこの地球規模の難題の解決方法を示唆しています。(P.35 参照)



(National Oceanic Atmospheric Administration/Woods Hole Sea Grant, Marine debris is Everyone's problem)



レース・フォー・ウォーター オデッセイ

Race for Water Odyssey 2015

北太平洋の真ん中には、黒潮や北太平洋海流、北赤道海流が巨大な渦巻きをつくっています。この渦の中に集められるのが太平洋ごみベルトと呼ばれ、160万平方km以上、日本の4倍以上の面積にゴミがただよんでいます。

2010年にマルコ・シメオーニ氏は、Race for Water(R4W)財団を設立しました。この財団は、もともとはヨットレースを通して海を守るためのものでした。太平洋ごみベルトの中で、海洋プラスチック汚染の深刻さに気付いたシメオーニ氏が、2015年に世界一周ヨットレース用の三胴船で、5つのごみのたまり場の調査に向かいました。これを Race for Water Odyssey 2015 と名付けました。プラスチックの島はなく、大小様々なプラスチックが海中を漂っているだけでした。たくさんのプラスチックが海に沈み、浮いているものは3%ほどだけだとシメオーニ氏も確認しました。

Race for Water Odyssey 2017-2021

2012年に双胴船プラネット・ソーラー号は、自然エネルギーだけで世界一周にはじめて成功した船となりました。この船は2015年にR4W財団に寄贈され、スイスの時計メーカー、ブレゲ(Breguet)の支援を得て、R4W Odyssey 2017-2021がはじまりました。R4W号は、太陽光発電で海水を真水にし、電気分解で水素をつくり、水素と風と太陽光を推進源として、海上でつくりだしたエネルギーだけで、海洋プラスチックの調査と世界の海を航海しています。



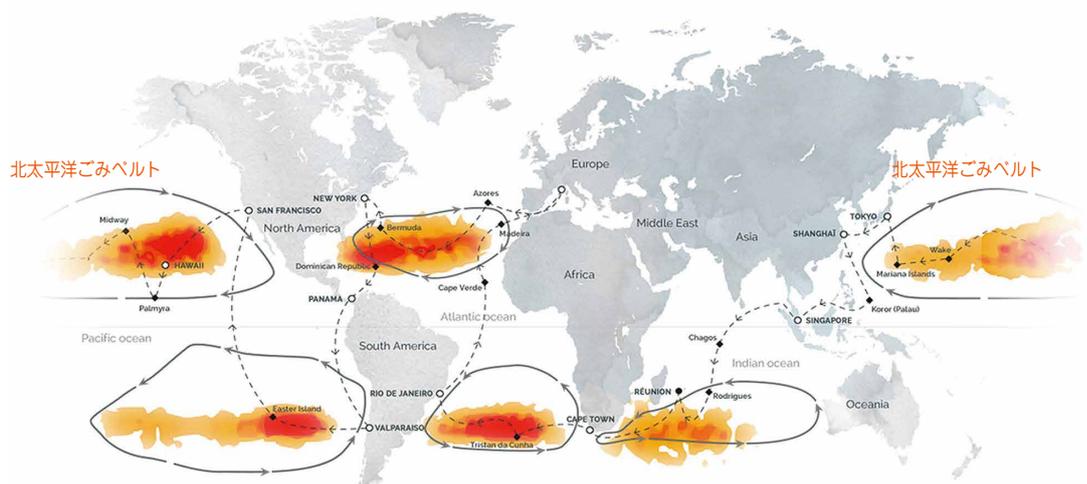
ボルドーのガロンヌ川から出航する R4W の三胴船



R4W Odyssey 2015 でプランクトンとマイクロプラスチックを採集



ハワイ カミロビーチのプラスチックごみ



R4W Odyssey 2015 では、すべてのごみの渦や渦の中の砂浜に立ち寄り、プラスチック汚染の調査を実施した。

パウリとシメオーニ

2017年9月8～10日にスイスで開催された第6回ツェルマット・サミットに起業家であり環境活動家であるグンター・パウリ氏とマルコ・シメオーニ氏が登壇しました。当然のことながら、二人は意気投合しました。シメオーニ氏はプラスチックごみを無酸素で高温加熱し、ガス化と液体化する事業を構想し、パウリ氏は海中のマイクロプラスチックを海藻の養殖で回収するビジネスを構想しました。この詳細は前述の2人の共著『プラスチック「革命」』に記されています。

R4W号が日本に到着

R4W号はフランスにある母港のロリアンを出航し、西へバミューダ海域に向かい、パナマ運河を通り、南アメリカを南下しました。チリのバルパライソで再び西へ、イースター島から、ポリネシア、ミクロネシア、インドネシアから北上、ボルネオ島の西側を通って日本を目指しました。新型コロナの影響を受け、予定変更を余儀なくされましたが、2020年2月に沖永良部島に到着しました。(次ページに詳細)



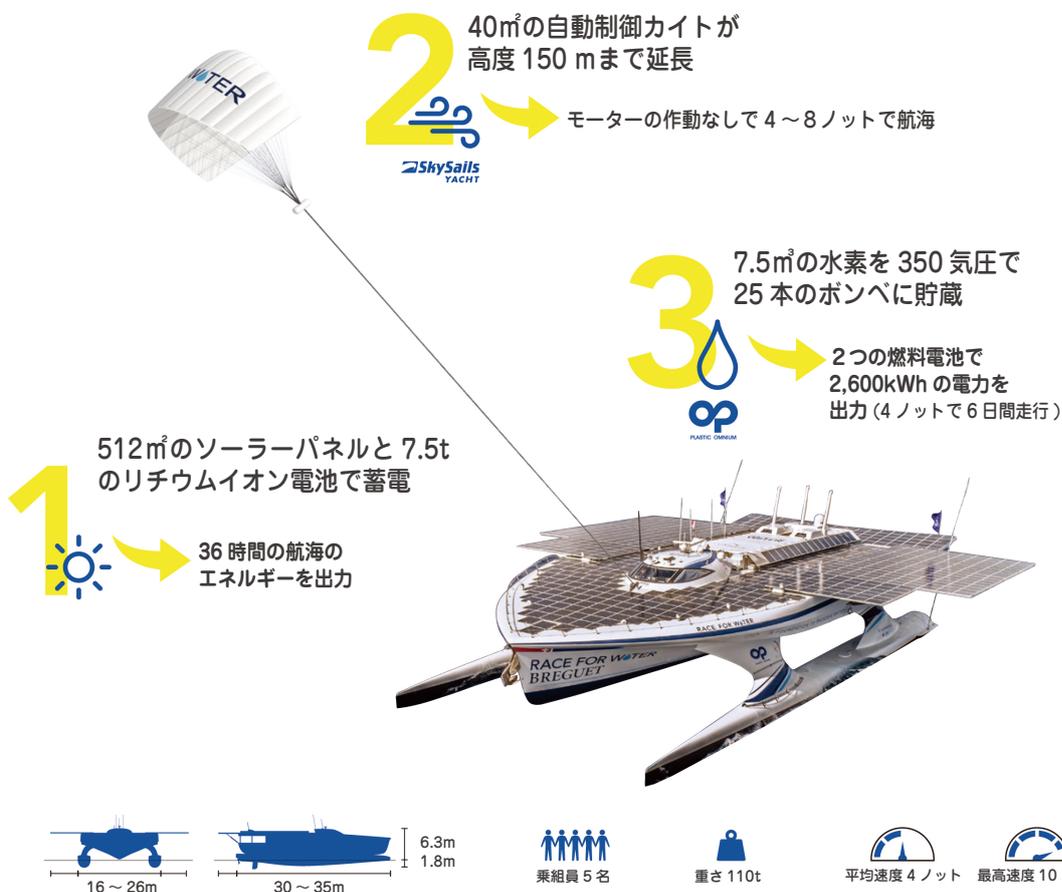
R4W号教室



R4W号タヒチで



R4W号のkite



R4W号は、太陽光と風だけで航海している。夜も風のない日も蓄えたエネルギーで航海できる。



サラヤとZERIジャパン

更家とパウリ氏との邂逅

更家悠介(サラヤ社長)は、1982年に大阪青年会議所の活動を通して、後にゼロエミッションの提唱者のひとりで環境問題の世界的権威となったグンター・パウリ氏に出会いました。その後、1994年4月に、パウリ氏は来日し、東京にある国連大学で、第3代国連大学総長 エイトール・グルグリーノ・デソウザ(Heitor Gurgulino de Souza)氏のもとで京都議定書準備の補佐をしていました。

この時期にパウリ氏は、ZERI(Zero Emission Research and Initiative)を創設しました。ZERI構想とは、ひとつの産業の廃棄物は他の産業の原料となり、産業が生態系のように資源を循環して、再利用する仕組みとなる構想です。

2001年に、更家はZERIの日本拠点として特定非営利法人ZERIジャパンを設立し、自ら理事長に就任しました。事務所は東京サラヤ株式会社本社2階にあります。パウリ氏のZERI構想は、今では持続可能なビジネスとしての「ブルーエコノミー」に発展して、実現段階にあります。いわゆる「サーキュラーエコノミー」と同義語です。

ZERIジャパンがR4Wと提携

Race for Water Odyssey 2017-2021の日本沿岸の航海に際して、R4W財団代表のシメオーニ氏とZERIジャパンの特別顧問であるパウリ氏の親交から、R4W財団とZERIジャパンは、2019年2月9日に大阪のサラヤメディカルトレーニングセンターで提携を結びました。8月29日にはスイス大使公邸でパウリ氏と理事長の更家がOdyssey 2017-2021の日本来航の記者発表を行いました。

2020年2月25日には、R4W号が沖永良部島に到着し、島民からの歓迎を受けました。ZERIジャパンが日本の海域でのアテンドを担当しています。

※ゼロエミッション(zero emission)とは、環境を汚染したり、温室効果ガスを排出しないエンジン、モーター、仕組み、または、その他のエネルギー源を指す。国連大学が1994年に提唱した排出ゼロ構想。



若き日の更家とパウリ氏

更家とパウリ氏 2010年



沖永良部島着岸時のフランス人クルー



沖永良部島での歓迎セレモニー



中之島ゲートウェイに停留中のR4W号、大阪府知事と大阪市長が乗船

今こそ、海洋プラスチックの除染に取り組むべき

世界は多くの困難に直面している。気候変動や人口の集中、食物の質の低下、化学物質の汚染などが、免疫力にストレスを与えるとハーバード大学は2019年に警告した。著名な大学研究者たちが、このストレスこそがパンデミックを引き起こすと結論づけている。この数ヶ月後に分析が現実になってしまうとは誰も知り得なかった。

劇的な気候変動が健康リスクを引き起こし、健康と安全の問題は悪化する一方だ。果たしてこれが、人災だと誰が気づいているだろうか？ すべては、我々の生活や生産、消費の仕方によって意図せず必然的に起こってしまったと誰も気づかず、ほとんど無自覚だろう。そして国際コミュニティは、この四半世紀は気候変動に、ここ数年はSDGsに注目しているが、さらに注意を向けるべき問題がひとつある。それはプラスチック、ことにマイクロプラスチックの問題だ。

今日、海洋プラスチック(マイクロプラスチックを含む)は、魚の総量を超えている。これには打開策が必要だ。レース・フォー・ウォーター財団が運営し、沿岸や島の住民に科学や技術を紹介するキャンペーンを更家悠介氏は知ると、すぐにこのメッセージ船を日本に招聘した。

レース・フォー・ウォーター号は、帆も燃料も使わず航海できる最初の双胴船だ。ソーラーパネルを搭載していて、海水から水素を電気分解し、自動制御のカイトで前進する。船が2020年2月に到着した時点で、既に45,000マイル(7.24万km)を再生可能エネルギーだけで航海した。大西洋と太平洋を航海し、遠方のコミュニティを訪れたこと、ただそれだけでも、レース・フォー・ウォーター号は、現実の問題解決の可能性を提案しているのだ。そのメッセージは、明確だ。つまり、海洋と太陽さえあれば、海を汚さず、飲料水をつくり、再生可能エネルギーを持続的に得られるのだ。そのことを実際に見て確かめられるのだ。

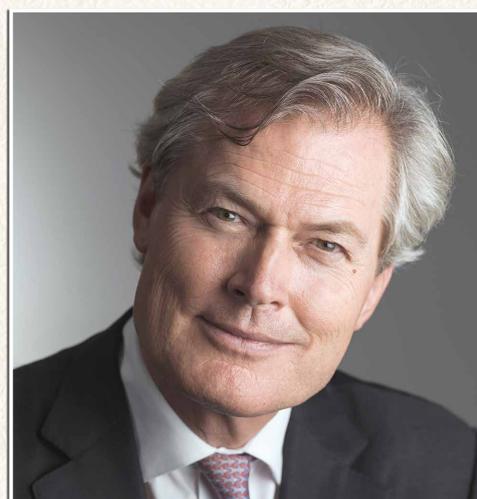
サラヤ株式会社は、創業から今までずっとプラスチックを使い続けてきた。問題を見つけ、その解決に挑み、それを戦略としてきたのがサラヤの姿だ。サラヤとレース・フォー・ウォーターとの協力関係は、さらに多くの人々に問題解決がビジネスモデルになるべきであり、そうすべきだという事実気付かせるに違いない。レース・フォー・ウォーター関係者と日経BPが、“The Plastic Solutions – The business model that works for the oceans”の日本語版訳『プラスチック「革命」—海

と地球を蘇らせる』を出版した。(p.31 参照)

海洋汚染の除去には、1世紀以上要するのだから、着手すべきであることは自明で、すぐにでも取り掛かる必要がある。プラスチック海洋汚染の解決策は、沿岸でマイクロプラスチックを遮断する海藻カーテンの養殖とその海藻を利用するバイオガス産業だ。回収したマイクロプラスチックは高温熱分解で分解する。したがって、資源リサイクルからバイオプラスチックに移行する間に、海洋汚染の除去をはじめ千載一遇のチャンスでもある。この長期のミッションに乗り出すにはビジョンと伝統を併せ持つ企業が必要である。光栄なことに、私はこの40年近くサラヤという会社をみてきて、

世代を超えて進化を遂げることをいかにして実践してきたかということが分かっている。

2020年7月10日



Gunter Pauli

Professor Gunter Pauli
Gunter Pauli教授 (ZERI 創立者)
Author of the Blue Economy
Chairman of Novamont SpA

ボルネオ島

ボルネオ島は、グリーンランド、ニューギニアに続く、世界で3番目に大きい島です。日本全土の1.9倍、本州3つ分より広く、赤道付近にあって氷河期にも凍らず、1億年の世界最古の熱帯雨林を有する島です。ボルネオの熱帯雨林は、生物多様性の宝庫とされています。このボルネオ島がパーム油の一大産地となっています。

島の最北部にあるサバ州は、特に生物多様性に富んだ地域で、205種の哺乳類、469種の鳥類、168種の爬虫類、130種の両生類が生息しています。その中でも特にキナバタンガ下流域は野生生物の宝庫となっています。

ゾウと共存するムランキン農園

この地域にあるムランキン農園では、アブラヤシ（パーム）栽培と野生生物の保護を両立しています。ボルネオゾウは、アブラヤシの木の柔らかい先端部を好んで食べます。他のアブラヤシ農園では、これを嫌って、ゾウを農園から追い払うだけですが、ムランキン農園では、若い木だけを囲ってゾウを避け、大きな木の周辺に入り込んでも、ゾウを追い払うことをやめました。するとゾウは木を倒すこともあるのです。

ボルネオ陸生の絶滅危惧種 (IUCN レッドリスト)

絶滅危惧度	ボルネオ				全種	日本 全種
	CR 近絶滅種	EN 絶滅危惧種	VU 危急種	危惧種計		
両生類 <i>Amphibia</i>	6	9	10	25	188	59
爬虫類 <i>Reptilia</i>	6	4	7	17	231	85
哺乳類 <i>Mammalia</i>	4	18	34	56	224	148
鳥類 <i>Aves</i>	6	10	23	39	474	594
計	22	41	74	137	1,117	886

(The IUCN Red List of Threatened Species 2020-2)

が、倒した木の8割が病気の木であり、残りはその近くの感染している可能性が高い木であることが分かりました。

このゾウの行動によって、森や農園を病気や寄生虫から守る役割を果たしていることを同農園の経営者は知り、ただ保護するだけでなく共存する方法を選びました。農園の近くに、残された熱帯雨林が点在することで、ゾウの居場所になり、本来ならネズミとヘビばかりの農園に、ゾウ以外にも多様な生物が出入りします。そのことで、ネズミなどの害獣やアブラヤシを食い荒らす害虫の繁殖を抑制できます。その上ゾウが、木の感染症も見張ってくれ、大量の糞も落としてくれるのですから、ゾウを受け入れたことで、少ない肥料・農薬で元気なアブラヤシを育てることができます。



寄生植物、ラフレシア



野生のオランウータン



ボルネオゾウ、特徴はアフリカゾウより体と耳が小さい。

15 陸の豊かさも
守ろう

ボルネオ サバ州で生物多様性保全

子ゾウの涙～地球にやさしいの落とし穴

少し時代を遡って、サラヤとボルネオ サバ州との関わり
のきっかけについて記載いたします。「子ゾウの涙～地球に
やさしいの落とし穴」というタイトルで、アブラヤシ農園の
拡大によってボルネオの熱帯雨林に生息するアジア（ボルネ
オ）ゾウが生息地を追われ絶滅に瀕していることを紹介した
ドキュメンタリー番組（TOYOTA ECO シリーズ、素敵宇宙
船地球号）が2004年8月1日に放送されました。

この番組の最後にオイルパームを原料とする石鹼・洗剤
メーカーとして「この現状をどう思うか？」と更家（サラヤ
社長）がインタビューを受けました。番組で対策するとの宣
言通りに、更家主導でサバ州の生物多様性保全活動がはじま
りました。

この年の夏以降に行動したことは、ボルネオ調査員 中西
宣夫の雇用、JICAのBBEC(Bornean Biodiversity and Ecosystems
Conservation、ボルネオ生物多様性保全・生態系保全プログラム)とも
協働しました。2004年4月に設立されたRSPO入会の申請
を年末に済ませ、2005年、年初に入会を承認されています。

サバ州で

2004年秋には調査員がサバ州野生生物局のゾウのレス
キューに参加、2005年1月には更家がクアラルンプールで開
催されたRSPOセミナーでこのレスキューやゾウの絶滅危惧
について報告しました。これは「子ゾウの涙～地球にやさ
しいの落とし穴-パート2」として番組に取り上げられました。

11月のRSPO第2回総会ではキナバタン緑の回廊につ
いて更家が提案しましたが、アブラヤシ農園オーナーたちが
反対し、決議には至りませんでした。2006年2月のBBEC
での同じ提案は大賛成を得ました。その他サバ州長官をヘリ
による上空からの視察に招待しました。

2007年2月にはサラヤの油脂関連のサプライヤー6名と
サラヤから3名によるサバ州視察ツアーを実施、消費者選
抜8名を「ボルネオ調査隊」としてサバ州視察ツアー（2015
年まで9回）実施（現在起点となるサンダカンがまだレベル
3の渡航禁止勧告であり休止中）。同年10月にはサバ州で傷
ついた子ゾウを救出、孤立したオランウータン親子も保護し
それぞれ保護区にリリースしました。また東京で最初のパー
ム油シンポジウムの運営と協賛を実施しました。これらの活
動は現在も継続中です。



1984年当時のサバ州キナバ
タン下流域、緑色の部分は熱
帯雨林。

現在の同地域、オレンジ色の部
分はアブラヤシ農園、熱帯雨林
は川沿いにわずかに残る。



住民が猪猟のためにしかけたナイロンロープの罠に子ゾウの足
がかかり、ロープは引きちぎって逃れたが、足に絡まったロー
プは取れない、子ゾウの成長とともに皮下に食い込み、ロー
プを取り去らないとやがて歩けなくなり死に至る。このようなゾ
ウを現地では「タリー（紐）」と呼ぶ。鼻に絡まった場合はもっ
と深刻である。番組の「子ゾウの涙」とはこのことであった。
この子ゾウは、サラヤが参加した最初のレスキューで捕獲され
た。その後、獣医の治療を受け、無事親の元に帰された。



左から、サバ州政府長官、
更家 2006年



パーム油シンポジウム 2007年



サラヤの支援で架けられた使用済み消防ホースの吊り橋をオランウ
ータンが渡っている。このプロジェクトは、ワイルドアジアのクレジ
ットを購入しているスモール・ホルダーの村との協力で行われた。

キナバタンガン緑の回廊

右上の地図は、サバ州の主要河川の両サイドの岸から各5kmを示しています。このエリアはアジアゾウ、オランウータン、テングザルなどの野生生物が最も多く生息していると考えられています。

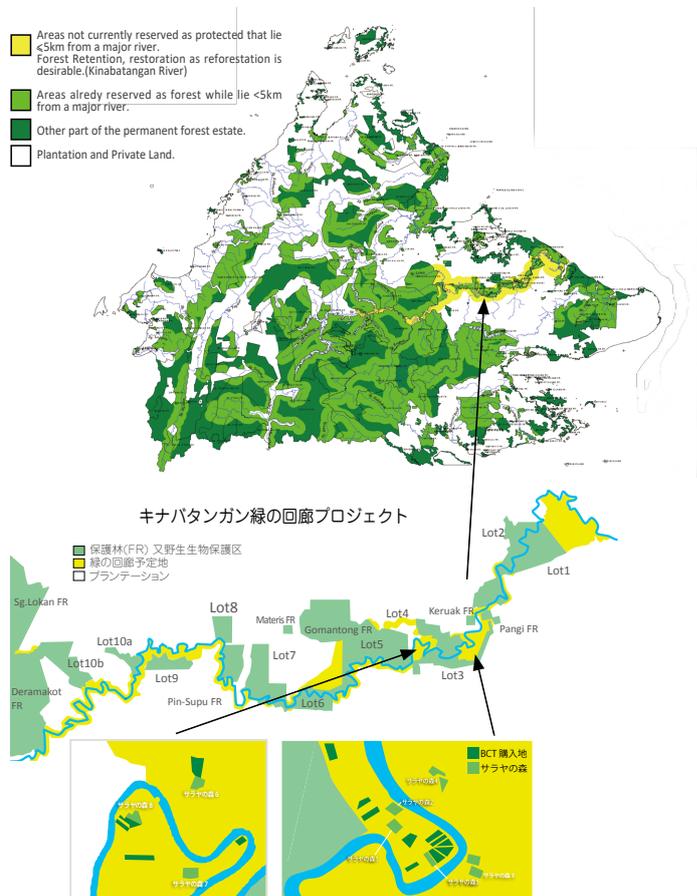
右中央の地図の黄色の部分、キナバタンガン下流域の緑の回廊予定地でまだ保護区になっていない土地で、緑色の保護区が分断されています。しかし、このエリアには多くの野生生物が依然として生息しており、生物多様性の保全にとって重要で、開発された川沿いの土地を二次林として保護区にすることが望まれています。このために設立されたのがボルネオ保全トラストです。

ボルネオ保全トラストの設立

サバ州野生動物局の職員や当時 BBEC(ボルネオ生物多様性保全・生態系保全プログラム)に在籍していた坪内俊憲氏他とともに更家は2006年9月にボルネオ保全トラスト(BCT)を設立し、10月にNGOとして政府の認定を受けました。事務所はサバ州コタキナバルのSWD(サバ州野生生物局)事務所内にあります。また、2008年にはボルネオ保全トラストを日本から支援するためにボルネオ保全トラスト・ジャパンを設立し、東京サラヤ本社に事務所を置き、サラヤから3名が理事を務めています。ボルネオ保全トラスト・ジャパンは、設立から10年後の2018年4月11日付で「認定特定非営利活動法人」として東京都から正式に承認されました。

ボルネオ保全トラストのミッションは「キナバタンガン緑の回廊プロジェクト」以外にも、傷ついたゾウや取り残されたオランウータンの救出など野生動物の保護、そのためのレスキューセンターの建設、生物多様性保全の啓発活動などがあります。サラヤは2007年5月より、ヤシノミ®洗剤やハッピーエレファントのブランド商品の出荷額の1%をボルネオ保全トラストの活動費に充てています。

BCTの取得地は2019年10月時点で約80ha(そのうちサラヤ支援の土地は22ha)と目標の2万haの0.4%です。2019年10月7日のBCT理事会(コタキナバル)で、BCT理事でもある更家(サラヤ社長)は、これらの土地をサバ州に寄贈し、ワイルドライフサンクチュアリにすることを提案し、翌日セレモニーが行われました。(http://www.dailyexpress.com.my/news/141478/boost-for-the-wildlife-corridor/)



上地図は、サバ州キナバタンガン下流域で、黄色部分は幅5kmのエリア、中央地図は、キナバタンガン下流域の拡大地図で、保護林を緑色に、私有地を保護林にする予定の地域を黄色に塗付した。下地図は、黄色部分の私有地を購入し、保護区にしたもの。サラヤの森は明るい緑色。濃い緑色はその他のBCT購入地。



レスキュー・センターパドック、保護されたゾウ

15 陸の豊かさも
守ろう

エジプトで砂漠緑化事業に出資

ホホバ (Jojoba)

ホホバとは、ホホバ科ホホバ属の常緑低木で、学名は *Simmondsia chinensis* (英国の植物学者シモンズに因む)、英名は Jojoba、ソノラ砂漠原産の樹木です。ホホバは乾燥した半砂漠地帯で生育し、塩分の高い水にも強く、高さは2mほどになり、種子からホホバオイルが採れます。

ホホバオイルは、ヒトの皮脂にきわめて近く、何百年も前から肌や髪に利用されていますが、正確には油脂ではなく90%がワックスエステルです。ワックスエステルは、私たちの皮脂にも20～30%が含まれていて、肌の張りや保湿のもとになる成分です。ホホバオイルには優れた殺菌作用、反バクテリア作用、皮膚の新陳代謝促進作用などがあります。特に熱を加えずに搾油したオイルはゴールデンホホバオイルと称され、ビタミンA、Eが豊富です。

ホホバで砂漠の緑化

ポプラなどの植樹では、地元で伐採されて燃料にされることがあります。持続的な緑化のためには地元にも収益をもたらせることが必要です。ホホバの樹木は、これまで優良品種の開発と普及が進んでいなかったため、安定した収穫が得られず、生産が伸びていませんでした。そこで大阪大学では、緑化に最適の植物遺伝資源として乾燥に強く収益性が高いホホバの木の増殖法と改良法の研究を行いました。この研究成果のもと、砂漠でホホバの安定した生産を行い、日本でその生産物を販売するための大阪大学発のベンチャー「株式会社シモンド」が2017年4月に設立され、10月からホホバ油の国内販売をはじめました。サラヤはこれに出資するとともにホホバ油を使用した商品を発売し、砂漠緑化に貢献します。

参考資料: 超耐乾性果樹ホホバの効率的な増殖法と改良法を開発. 大阪大学
https://resou.osaka-u.ac.jp/ja/research/2017/20170929_1
 (アクセス 2018/8/9)



砂漠緑で育ったホホバの種子が原料、「ジョジョブル インシャワー ボディオイルジェル」

サラヤのエジプト生産拠点

2018年7月4日カイロを拠点に Saraya Middle East for Industrial Investment J. S. C. を設立、現在スエズに同社の工場を建設中で、2020年以降ホホバの搾油も含め、エジプトとアラブ世界にサラヤ商品を供給します。建設中の工場は S IDC ゾーン (S IDC: Suez Industrial Development Company SAE) と呼ばれるビジネスパーク内にあり、敷地面積は2ha(6,050坪)、道路に面した広大な土地です。

また、このエジプトでのビジネスは、エジプト国内で関心を集め、更家(サラヤ社長)が登壇のため参加した生物多様性条約第14回締約国会議の合間に、エジプトの経済産業省 Amr Nassar 大臣との会談が同会場内で持たれました。この模様は、web ニュースやエジプト国内のTVニュースなどで報道されました。



建設中のサラヤエジプト生産拠点完成予想図



株式会社シモンドのホホバ果樹園

平和と公正をすべての人に

ガバナンスとステークホルダー

国連グローバル・コンパクトに加盟

国連グローバル・コンパクト（UNGC）は、各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加する自発的な取組みです。世界151ヶ国、15,464団体（2020年9月末現在）が加盟しています。サラヤは2009年6月に署名・加盟し、人権の保護、不当な労働の排除、環境への対応、そして腐敗の防止に関わる10の原則に賛同し、その実現に向けて努力を継続しています。ローカルネットワークであるGCNJ（グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン）を通して積極的に活動しています。

会社単体	取締役		監査役
	人数計	女性	
サラヤ株式会社	16	2	2
東京サラヤ株式会社	10	1	0
スマイル産業株式会社	4	1	1

（2019年10月末現在）

国連グローバル・コンパクト10原則			記載頁
人権	原則1	企業は、国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重すべきである	22
	原則2	企業は、自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである	
労働	原則3	企業は、結社の自由と団体交渉の実効的な承認を支持すべきである	40
	原則4	企業は、あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持すべきである	25
	原則5	企業は、児童労働の実効的な廃止を支持すべきである	
	原則6	企業は、雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである	
環境	原則7	企業は、環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持すべきである	17
	原則8	企業は、環境に関するより大きな責任を率先して引き受けるべきである	2-4
	原則9	企業は、環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである	17-18
腐敗防止	原則10	企業は、強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである	40

サラヤのガバナンス

サラヤは、家族経営のオーナー企業です。グローバル・コンパクトの10原則をガイドラインに、法令順守や倫理的活動を推進しています。取締役会は、毎月1回のペースで開催しています。取締役会の構成は左表の通りで、女性役員の2名を含め、年齢43～68歳、平均年齢56.8歳、多様性の確保に努めております。

サラヤのステークホルダー エンゲージメント

ステークホルダー	コミュニケーション窓口	実施時期	内容	企業活動として反映
企業のお客様	コンタクトセンター	平日 9:00-18:00	電話及びメールでのお問い合わせに対応。	お客様のご意見を商品開発に反映
	公式 HP	随時	商品情報、会社案内、事業案内を各サイトで掲載。医療従事者向けなどに感染予防サイトも実施。	最新の情報を更新
	SNS での発信	随時	会社案内、事業案内、商品情報を各サイトで掲載。	
	各営業本部	随時	シンポジウム、セミナー等の開催。	感染予防や食品衛生に貢献
一般消費者	コールセンター	平日 9:00～17:00	電話及びメールでのお問い合わせに対応。	お客様のご意見を商品開発に反映
	公式 HP	常時	家庭用商品紹介サイトやブランドごとの専門サイトを設置。ご家庭での感染予防や健康情報などご紹介。	最新の情報を更新
	SNS	常時	家庭用商品紹介サイトやブランドごとの専門サイトを設置。ご家庭での感染予防や健康情報などご紹介。	
従業員	総務人事本部	随時	職場における悩みや各種ハラスメントでの人間関係のトラブルに関する相談窓口を設置。メールなどでの相談を受付。	より快適な職を目指して改善
	SARAYA PORTAL	常時	従業員向けの総合情報サイト。	情報の確実な伝達
従業員の家族	社内報	年3回発行	社内情報、商品情報、地域情報。	会社と仕事への意識を高める
入社希望者	総務人事本部・管理部	随時	会社説明会、SNS、インターンシップなど。	良い人材の確保
国・行政	官民共同プロジェクト	随時	研究開発助成、JICA 民間提案型普及・実証事業、環境情報開示基盤整備事業など。	現地ニーズの把握 投資家等の意見交換
地域	本社・工場所在地	随時	東京都品川区と東京サラヤ本社の避難所開設の協定を締結し、避難訓練など実施。工場での見学者の受入、地域の清掃活動参加など。被災地への感染対策支援。	地域社会に貢献
サプライヤー	SCM 本部購買	随時	原料納入や運輸関係の企業で構成される SF(サラヤフレンドシップ)会を組織。SF 会のアブラヤシ農園や搾油工場など現地視察実施。羅漢果契約農家からの原料調達、ワイルドアジアから CSPO 及び CSPKO クレジット購入。	持続可能性のための共通目標 と相互信頼の確認
非営利団体	国内外の NPO、NGO と協働、支援	随時	社会貢献活動。ホルネオ保全トラスト、日本ユニセフ協会、ジョイセフなどと共同プロジェクトを実施。	UHC、原料供給地の生物多様性の保全などに貢献



パートナーシップで目標を達成しよう

サラヤ本町事務所内にウガンダ共和国在大阪名誉領事館を開設

更家悠介がウガンダ共和国名誉領事に就任

更家悠介(サラヤ社長)は、ウガンダ共和国 サム・カハンバ・クテサ外務大臣の任命により、ウガンダ共和国名誉領事に就任し、サラヤ本町ビル内に在大阪ウガンダ共和国名誉領事館を開設しました。

これに際し、2019年11月5日、大阪市のリーガロイヤルホテルで、ウガンダ共和国をはじめとするアフリカ各国と関西地域との経済・文化面での交流を目的として、「関西・アフリカナイト」と題して、パネルディスカッションやレセプションを開催しました。

ベティ・グレース・アケチ・オクロ駐日ウガンダ共和国特命全権大使をはじめ、関西のアフリカ各国名誉領事など多数が出席しました。今後も本業の衛生や社会貢献でウガンダ、ケニアなどのアフリカ諸国と関西の連携を深めるよう努力する所存です。

Commemoration for the Honorary Consulate of the Republic of Uganda in Kansai the Africa Night in Kansai



関西・アフリカナイトでの記念撮影。前列左から2人目がベティ・グレース・アケチ・オクロ駐日ウガンダ共和国特命全権大使、前列中央が吉村洋文大阪府知事、後列左から3人目が更家悠介

サラヤが加盟・支援する国内のNPO・NGO

ロゴ	英名 / 日本語名	関連ブランド	役職	開始年	関連する 主な SDG	目的・活動
	グリーン購入ネットワーク		代表理事	1996	12	グリーン購入に率先して取り組む企業、行政機関、民間団体等の緩やかなネットワークと情報発信。
	特定非営利活動法人 エコデザインネットワーク		副理事長	2001	11	モノづくり、マチづくり、地域環境づくりの立場から構想し、持続可能な社会の実現と発展に向けた活動。
	ゼリ・ジャパン		理事長	2001	12	資源を循環再利用し、廃棄物を0に近づけるゼロエミッション構想から、日本における環境教育の啓発と実践、産業クラスター〈連携〉の構築、循環型社会の実現。
	セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	アラウ.		2001	4	子供たちを取り巻く問題の根本的な解決。子供たちの教育、保健・栄養、緊急・人道支援の活動。
	認定特定非営利活動法人 日本IDDMネットワーク	ラカント		2006	3	インスリン補充が必須な患者のために、1型糖尿病(IDDM)を「治らない」病気から「治る」病気へすること。
	認定特定非営利活動法人 ボルネオ保全トラスト・ジャパン	ハッピーエレファント ヤシノミ洗剤 ココバーム	理事 3名	2008	15	ボルネオ保全トラストと協業し、様々なプロジェクトを通じてボルネオの自然環境保護や生物多様性保全活動、環境教育活動を実施。
	一般社団法人 企業と生物多様性 イニシアティブ			2008	15	多様な企業が共同で研究を進めることにより、単独の企業活動のみでは成し遂げられない成果を生み出し、真に国内外の生物多様性の保全に貢献する。
	国際糖尿病連合	ラカント		2014	3	国際連合が決議し、国際糖尿病連合が推進する「糖尿病との戦いのために団結せよ(Unite for Diabetes)」ブルーサークルのキャンペーン。
	公益社団法人 日本ユニセフ協会	シャボグリーン ハンドラボ		2010	3	世界中の子供たちの命と健康を守るために活動する国連機関。持って生まれた可能性を十分に伸ばして成長できるように「子供最優先」を掲げる支援活動。
	国際協力NGO ジョイセフ	ラクトフェリンラボ		2011	3	世界の女性が妊娠・出産によって命を落とすことなく、安全に妊娠・出産できるようにする活動。
	社団法人日本WHO協会		副理事長	2012	3	WHOが実施している活動や有益な情報を普及させることにより、健康増進に寄与。



環境・CSRコミュニケーション

講演



第3回日経ソーシャルビジネスコンテスト表彰式・記念シンポジウム

2020年7月11日(土)に「第3回日経ソーシャルビジネスコンテスト 表彰式・記念シンポジウム」がweb開催され、パネルディスカッションに、更家悠介(サラヤ社長)が登壇しました。
(<https://channel.nikkei.co.jp/e/nsbc2020>)



With コロナの中で世界と向き合う 第1回

2020年6月29日(月)、大阪府と公益社団法人大阪産業局国際事業部との共催でweb開催で行われた講演会に、更家悠介(サラヤ社長)が「With & After コロナ」と題した講演を行いました。同講演は、下記リンクでご視聴いただけます。
(<https://www.youtube.com/watch?v=89A62te-caY&feature=youtu.be>)



SDGsのための廃プラスチック問題講座

2020年4月3日(金)にサラヤメディカルトレーニングセンターで、一般社団法人生産技術振興協会の主催、サラヤ協賛で「SDGsのための廃プラスチック問題講座～海洋生分解性プラスチックの開発動向など～」が開催されました。パネルディスカッションには、更家悠介(サラヤ社長)が登壇しました。



宣伝会議サミット大阪 2019

2019年12月4日(水)にハービス HALLで、「マーケターのチャレンジが、顧客の共感を生む～ブランドをつくるのは人～」をテーマに開催されました。ブランディングのために如何にしてメディアを活用するのかを演題に広報宣伝統括部の廣岡が発表しました。



2019年度エコ・カレッジ

2019年9月27日(金)に、茨城県水戸市ホテルレイクビュー水戸にて、一般社団法人茨城県環境管理協会主催の2019年度環境事例発表会「持続可能な社会と企業活動～SDGsの実践に向けて」が開催され、更家悠介(サラヤ社長)が「SDGsとサラヤ」と題する事例発表を行いました。主催の法人は、県独自でエコ・カレッジ(職域コース)という事業所の環境管理者、廃棄物担当者などを対象に、地球温暖化防止の推進活動等を行っています。

その他講演

日時	講演会名	開催地	主催者	サラヤ登壇者
2020/2/21	パーム油と環境保全～手作り行灯ワークショップ～	東京都	港区立エコプラザ	小野文義
2020/2/14	持続可能な森林経営のためのフォレストパートナーシップセミナー	環境省	日比谷図書文化館	中西信夫
2020/2/4	戦力になる障害者雇用のすすめVol.3	大阪府	アオクスルプロジェクト	笹さとみ
2019/9/30	食の安全都民フォーラム 講演2「手洗い実践率向上のための取組例～手洗いの必要性を意識づけるための普及啓発	東京都	東京都	村松寿代
2019/8/31	第6回日経アジア・アフリカ感染症会議 議題3 エボラ出血熱流行～新興・再興感染症への未承認薬使用の必要性や課題を議論する、分科会 アフリカにおけるスナノミ被害の現状と対策	神奈川	日本経済新聞	北條健生

受賞



第23回 環境コミュニケーション大賞 表彰式
主催：環境省 一般財団法人地球・人間環境フォーラム

第23回環境コミュニケーション大賞 生物多様性報告特別優秀賞

昨年に続き、サラヤの『持続可能性レポート2019』が、第23回環境コミュニケーション大賞 環境報告部門 生物多様性報告特別優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）を受賞いたしました。

この表彰は、環境省と一般財団法人地球・人間環境フォーラムの共催によるもので、表彰式は2020年2月19日に品川プリンスホテルで開催され、同財団法人の炭谷茂理事長（写真左）より更家一徳（常務取締役）に表彰状が授与されました。同賞は通算で4回目の受賞になりました。



「関西ものづくり新撰2020」選定証交付

関西ものづくり新撰2020 に選定

経済産業省 近畿経済産業局では、秀逸な技術・製品でこれからの事業の発展が期待できる10件の製品・技術を「関西ものづくり新撰2020」として選定しました。サラヤ株式会社は「天然酵母が生み出す安全でマルチなバイオサーファクタント～革新！Natural Skin Care Material」～としてバイオサーファクタント「ソホロ」が選出されました。選定証交付式が2020年2月6日にリーガロイヤルホテルで開催されました。



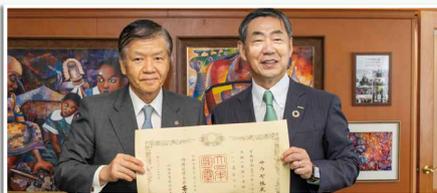
第53回グッドカンパニー大賞 優秀企業賞

サラヤ株式会社は、近畿産業経済局及び一般社団法人ニュービジネス協議会のご推薦により応募し、グッドカンパニー大賞優秀企業賞を受賞しました。同賞は、社会的・経済的に優れた成果を上げている中小企業に贈られる賞です。2020年2月3日に経団連会館で行われた表彰式で、更家一徳（常務取締役 写真左）が社長更家悠介の代理として、中小企業研究センター前田晃伸理事長（写真右）より表彰状を授与されました。



大阪市女性活躍リーディングカンパニー 優秀賞

大阪市は、女性活躍リーディングカンパニーの認証を受けた会社の中で特に優れた取組を行っている企業等を表彰しています。サラヤ株式会社は、2015年受賞の最優秀賞に続いて、2020年2月3日に優秀賞を受賞しました。



紺綬褒章

国立循環器病研究センター移転建替推進整備事業への貢献が認められ、2019年9月にサラヤ株式会社が紺綬褒章を受賞しました。

その他の受賞

日時	賞名	主催	受賞対象
2020/5/22	第70回工業技術賞	一般社団法人 大阪工研協会	泡質と香り及びディスペンサー適合性に優れた泡ハンドソープの開発技術
2019/12	サステナブルコスメアワードSDGs推進賞	公益財団法人日本環境協会	ラクトフェリンラボ
2019/10	大阪府薬事関係等功労者知事表彰	大阪府	品質保証本部 成田実
2019/9	グッドデザイン賞	公益財団法人 日本デザイン振興会	ウォッシュポン ソープディスペンサー

会社概要

営業・生産拠点と関連会社

国内営業	札幌 仙台 盛岡 新潟 福島 北関東(埼玉) 千葉 新潟 東京 八王子 横浜 町田 静岡 長野 名古屋 京都 北陸(金沢) 大阪 神戸 岡山 四国(香川) 広島 九州(福岡) 南九州(鹿児島) 沖縄	国内	25 都市 33 拠点
	大阪工場 伊賀工場 熊野食品工場 関東工場		
生産拠点	サラヤ東莞工場、サラヤ桂林工場、 山東新華医療生物技術有限公司	中国	13 拠点 9ヶ国
	サラヤ MFG タイランド工場	タイ	
	グッドメイド工場	マレーシア	
	ケンタッキー工場	アメリカ	
	サラヤ MFG ウガンダ工場	ウガンダ	
	サラヤ ヨーロッパ SAS 工場	フランス	
サラヤ チュニジア工場	チュニジア		
研究	バイオケミカル研究所、彩都サテライトラボ		2 拠点
海外拠点	Best Sanitizers, Inc. Saraya USA, Inc. Saraya International, Inc. Saraya Canada Co., Ltd. Saraya Hygiene de Mexico S.A. de C.V.	アメリカ	31 拠点 21ヶ国
	Saraya Australia Pty Ltd Saraya New Zealand	オセアニア	
	Saraya Co., Ltd. Europe Saraya CIS LLC. Saraya Ukraine LLC. SARAYA POLAND Sp. z o.o.	ヨーロッパ	
	Saraya Korea Co., Ltd. Saraya (Shanghai) Biotech Co., Ltd. Saraya (Hong Kong Sales) Co., Limited Saraya HongKong Co., Limited Taiwan Saraya Hygiene Co., Ltd. Saraya International (Thailand) Co., Ltd. Saraya Goodmaid Sdn. Bhd. Saraya Hygiene Malaysia Sdn. Bhd. Saraya Greentek Co., Ltd. Hanoi Representative Office Saraya (Cambodia) Co., Ltd. Saraya Myanmar Co., Ltd. Saraya India Private Limited Saraya Mystair Hygiene Pvt. Ltd. Goodmaid Chemicals Corporation Sdn. Bhd.	アジア	
	Saraya Manufacturing (U) Ltd. Saraya Kenya Co., Ltd. Saraya Beauté et Sante Saraya Middle East for Industrial Investment J.S.C. Saraya Middle East Trading DMCC	アフリカ	

(2019年10月末現在)すべての拠点は市街、工業地区にあります。

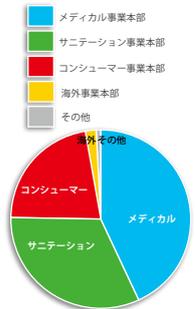
会社概要

社名	サラヤ株式会社	東京サラヤ株式会社	スマイル産業株式会社
創業	1952年		
設立	1959年	1969年	1983年
本社住所	〒546-0013 大阪市東住吉区湯里 2-2-8	〒140-0002 東京都品川区東品川 1-25-8	〒582-0028 大阪府柏原市玉手町 24-12
代表	06-6797-3111	03-5461-8101	072-978-7800
資本金	4,500万円	6,000万円	3,000万円

※ 創業は前身である三恵薬糧として創業した1952年、設立は三恵薬糧の一切の業務を引継いでサラヤ化学工業株式会社を設立した1959年とした。1984年、「自然派のサラヤ」を目指し、サラヤ株式会社と社名変更した。

事業部別売上

事業本部	売上(億円)	比率
メディカル	217	43.2%
サニテーション	161	32.1%
コンシューマー	111	22.1%
海外	10	2.0%
その他	3	0.6%



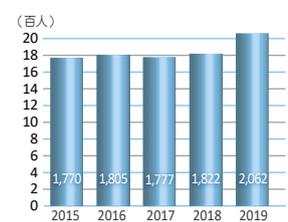
2019年度事業本部売上比率

年間売上高と従業員数

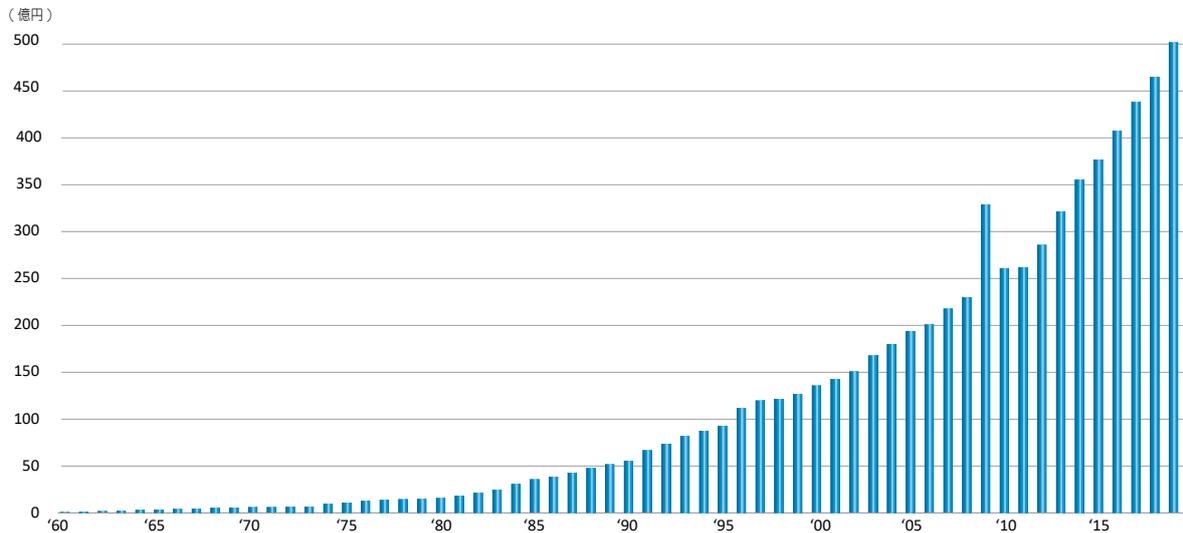
サラヤ株式会社 430億円 1,524人
(2019年10月末現在) 連結3社 502億円 2,062人



過去5年の連結売上高の推移



過去5年の連結従業員数の推移



サラヤ3社連結の1960年から2019年までの年間売上高の推移

持続可能性レポート 2020

Sustainability Report

発行日 ■ 2020年10月
発行 者 ■ サラヤ株式会社
編集・デザイン ■ サラヤ株式会社 高橋 厚子
お問い合わせ ■ サラヤ株式会社
〒546-0013
大阪市東住吉区湯里 2-2-8
TEL. (06) 6797-3111
FAX. (06) 6700-6656

ホームページ ■ <https://www.saraya.com/csr/report/>

編集後記

ジェネレーションで変わる常識や生き方

1960年代のニューヨークの広告業界を描いた「MAD MEN」というドラマがあります。衝撃を受けたのは当時の常識とモラルの違い、あまりに今と違っていたことに改めて気付きました。子ども時代を思い出すとかすかに思い当たることはあったものの、不快というより奇妙に感じました。60年代には「アルコール中毒」という言葉も概念もありましたが、「依存症」とはまだ言わなかった時代です。主人公の広告マンは、酒・ニコチン・セックスの3つの依存症の上に経歴も詐称しています。昔は企業の環境汚染などの隠蔽も少なくありませんでした。

60年代は、ジェンダー差別が許されたというより制度になっていて、アポロの月着陸で人々がはじめて地球の画像を観て、世界観が少し変わりはじめる時代でした。この時代に子供時代を過ごした団塊の世代は、「ライブエイド」などSDGsの今につながる兆しがあり、次のインターネットが当たり前のミレニアル世代は、SNSやオーガニック食品の市場を拓き、そして、Z世代へとつながります。

Z世代には、グレッタ・トゥンベリさんや6歳から温暖化問題のスピーチをしているカーティスカット・マルチネス(Xiuhtezcatl martinez)さん、2020年のグラミー賞で主賞を独占し、地球温暖化をテーマにした楽曲“all the good girls go to hell”を作った歌手のビリー・アイリッシュさんがいます。グレッタさんはアスペルガー症候群などの診断を受け、ビリーさんは複数の精神障害があるけれども自分の個性として、堂々としていて、むしろ多様性こそがカッコいいと思うことのできる世代です。

2020年夏、アップルはサプライチェーンも含めて再生可能エネルギー100%を実現し、原料の全リサイクル化も計画しており、EV自動車のテスラとともに株価を急上昇させています。こういった企業がレアメタルのサプライチェーンの問題として、事情があって密かに、コンゴの熱帯雨林保全を支援しているのだと、そう勝手に妄想しています。

ともあれ世代を追って、社会も人も変化を遂げています。この変化が、どうか間に合いますように。

プラスチック問題

サラヤはグンター・パウリ氏からマルコ・シメオーニ氏へというご縁で、今レース・フォー・ウォーターに関わっています。両氏がコロナ禍で今年来日できなくて残念です。プラスチックは、商品の容器包装原料であり、スマイル産業というプラスチック成型の連結子会社もあり、パームと同じくらいの比重を占めるサプライチェーンの問題です。サラヤは協力を惜しみません。

パンデミックの中で

新型コロナの2020年春は、新入社員が製造拠点の応援に駆り出され、2ヶ月ほどの研修のほとんどが、生産実習になりました。過去のパンデミックの中で、腸管出血性大腸菌O157の食中毒事故で日本中が大騒ぎになったとき、社員全員が休日に工場の臨時アルバイトになりました。私も駆り出され、ギフト用のパックの箱詰めをすることになりました。

前日までは、はじめてのラインの作業を少し楽しみにしていて、きっと楽勝できると考えていました。ところが、実際やってみるとラインの流れが速く、左利きなので手の動きを何度も直されました。軍手を貸してもらったのですが、片方をない人に貸してしまって、軍手なしの片手が小さな傷だらけになり、結構辛く、何度も動きを直され気分も落ち込んでしまいました。

この経験が本来の仕事への自分への意識を変えることになりました。かすかな危機感を感じながら、生きていくために「とにかく、今私に与えられている仕事を精一杯やらないとだめだ。」と言う考えに帰着しました。今もその経験から、手際よくレジ打ちをされるコンビニやスーパーの店員さんに、密かにリスペクトを感じています。その仕事の大変さは、実際にやってみない限り絶対に分からないし、左利き故に苦労することが必ずあると想像できます。自社だけではなく、すべての私が必要としている製品の製造や流通、宅配の配達員さんなどのサービスに私たちは依存しています。それなくしては生活して行けないこともコロナ禍の中で感じるが多くなりました。

(2020年9月8日 高橋)



We are committed to the SDGs!

Sustainability Report **2020**
